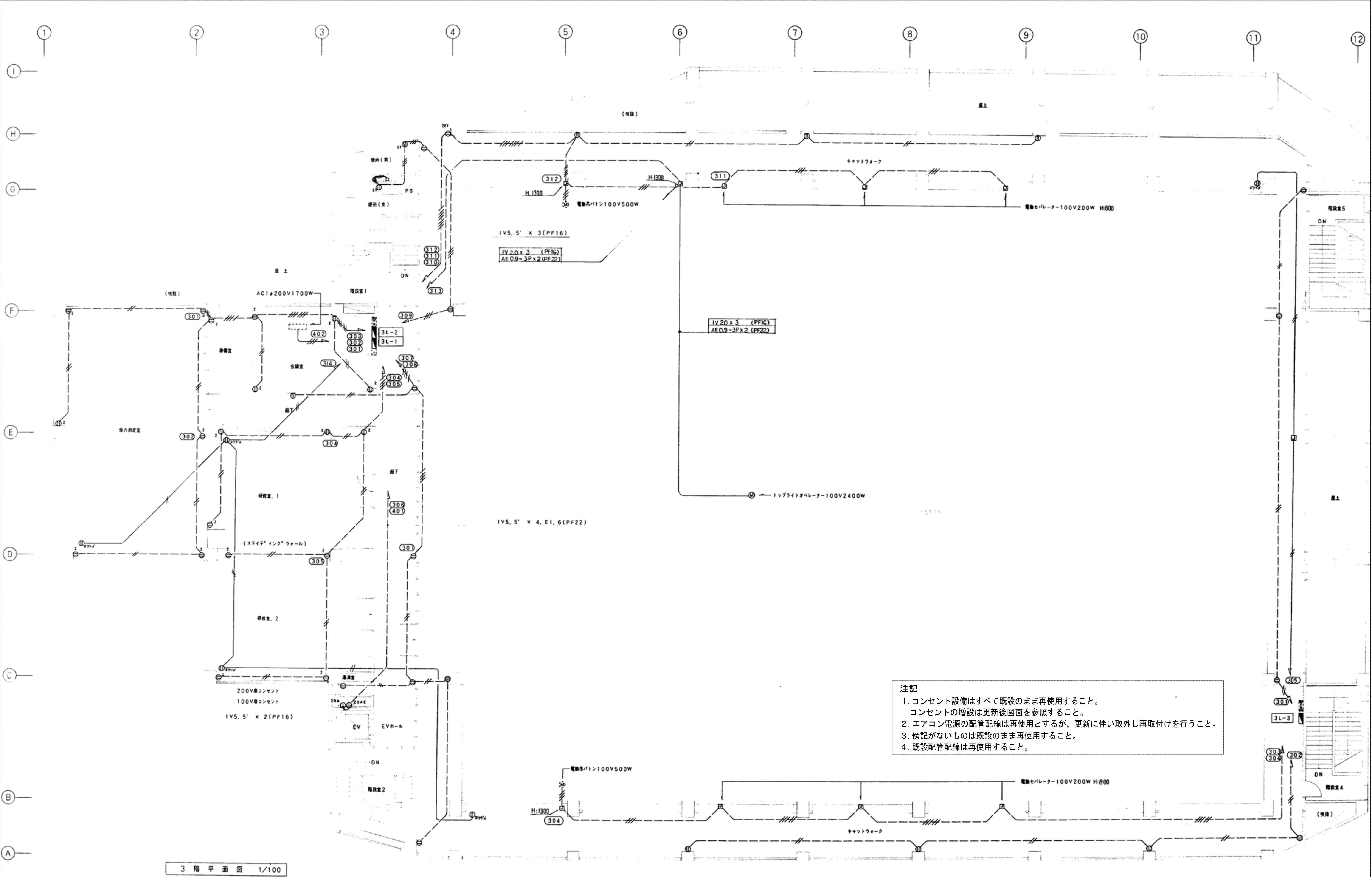
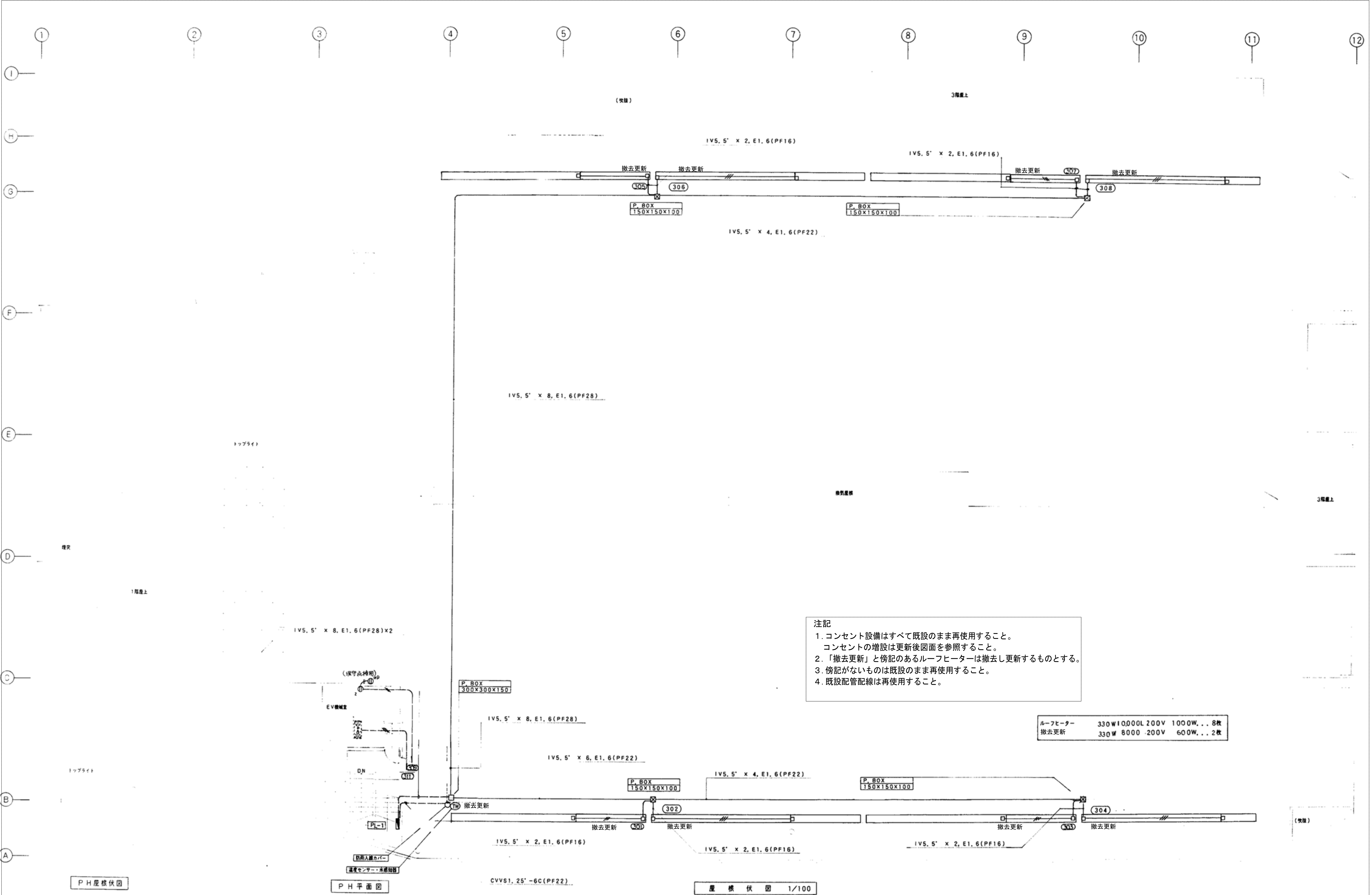


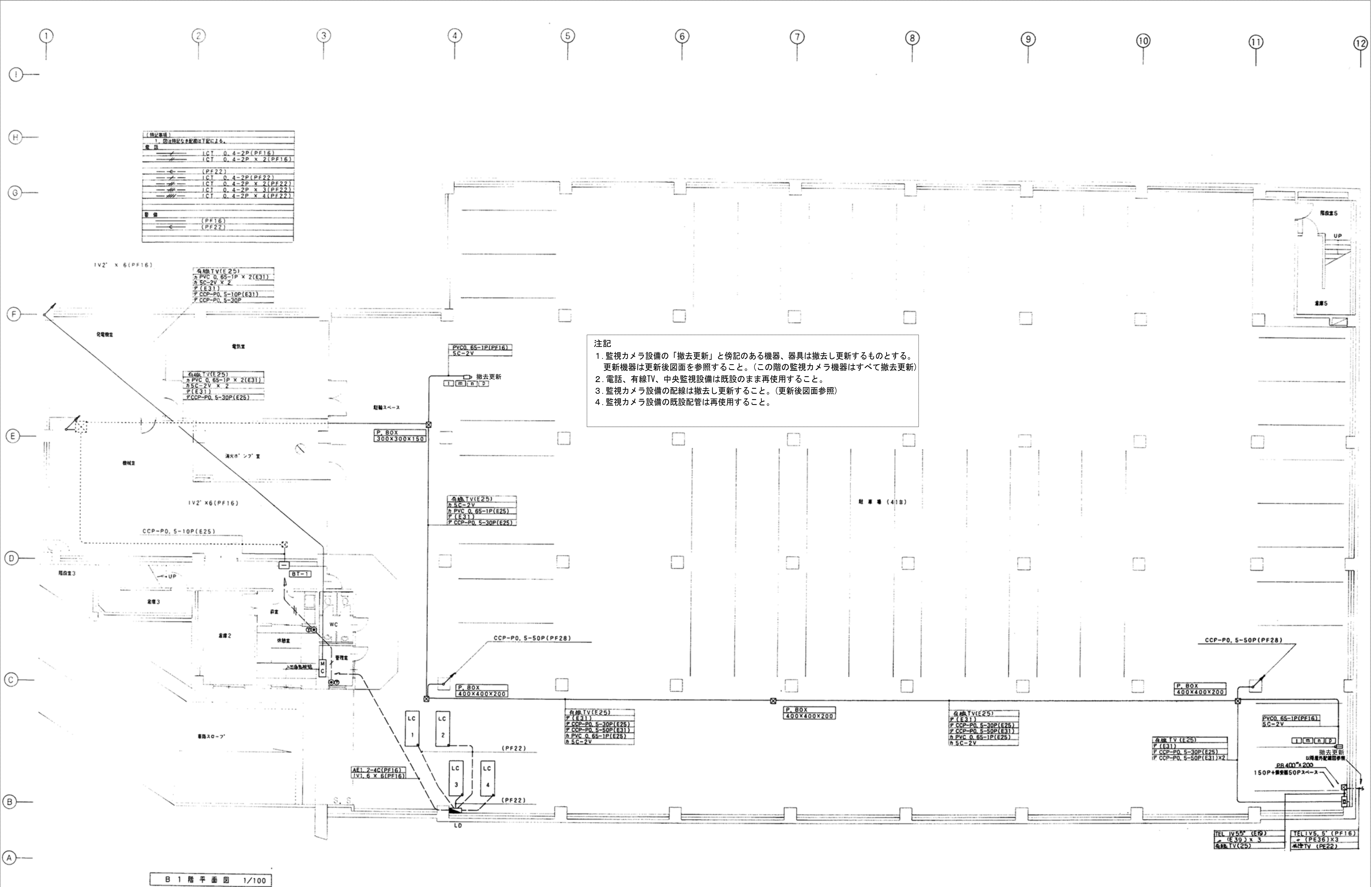


注記
1. コンセント設備はすべて既設のまま再使用すること。
コンセントの増設は更新後図面を参照すること。
2. エアコン電源の配管配線は再使用とするが、更新に伴い取外し再取付けを行うこと。
3. 傍記がないものは既設のまま再使用すること。
4. 既設配管配線は再使用すること。

3 階 平 面 図 1/100

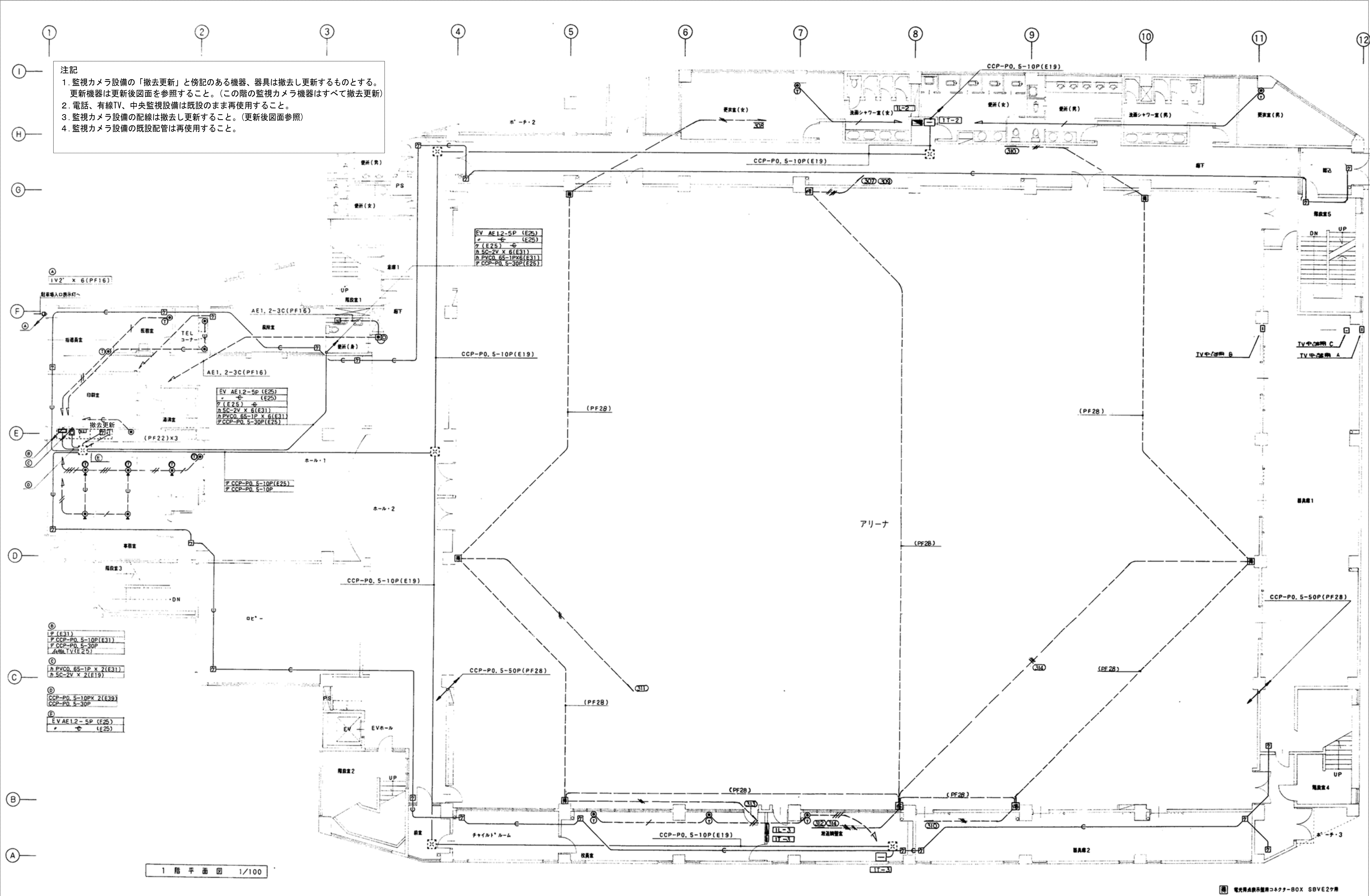
訂正	月 日		一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
	・			R5・9・	高 橋	高 橋	高 橋		
	・			1 級建築士登録第 29025 号 高橋雅人	製図	担当	承認年月日	図面名称	縮尺
・					高 橋	高 橋	・	更新前 3F コンセント	1:100
									E — 60



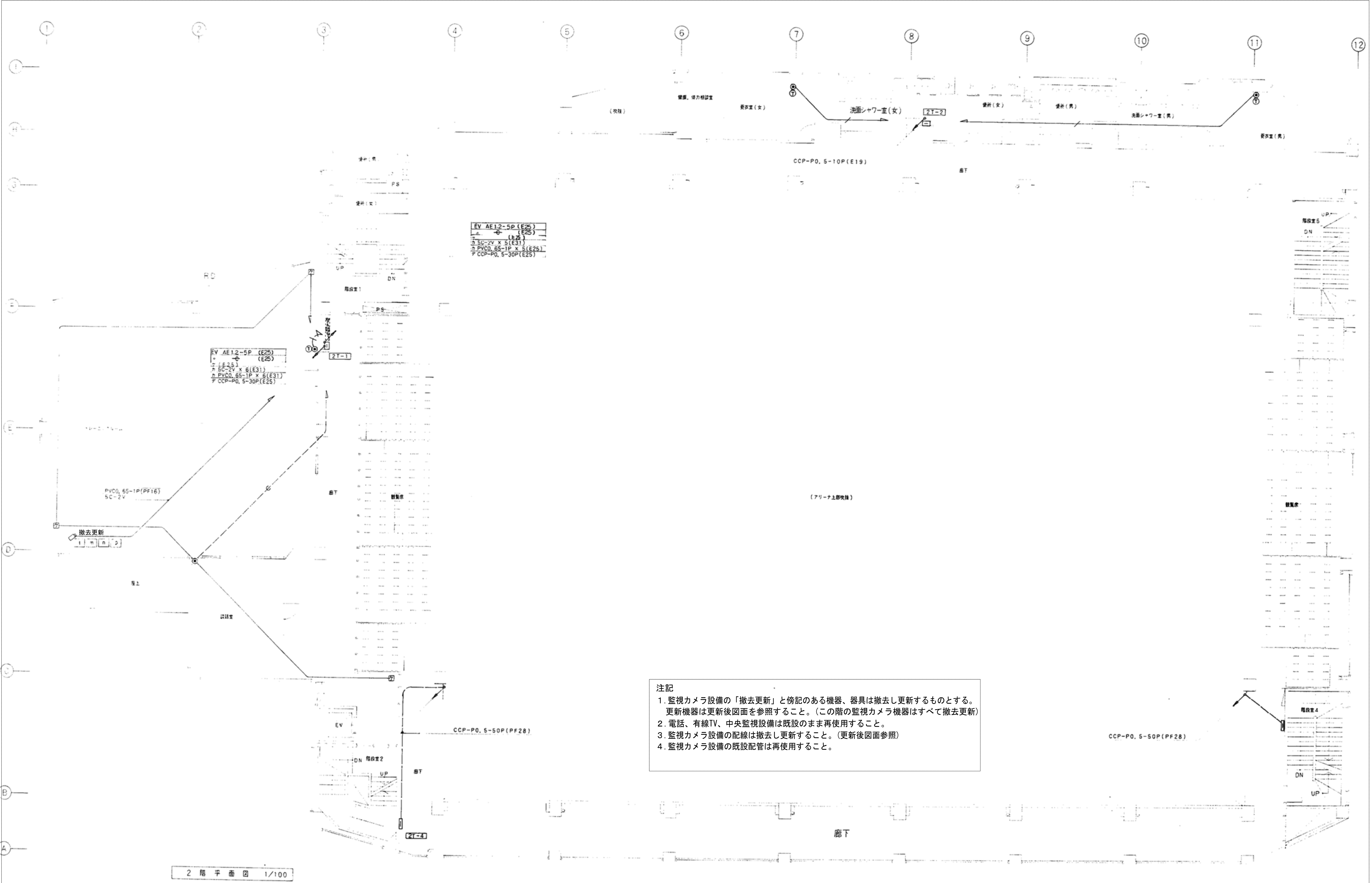


注記
1. 監視カメラ設備の「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。(この階の監視カメラ機器はすべて撤去更新)
2. 電話、有線TV、中央監視設備は既設のまま再使用すること。
3. 監視カメラ設備の配線は撤去し更新すること。(更新後図面参照)
4. 監視カメラ設備の既設配管は再使用すること。

B 1 階 平 面 図 1/100

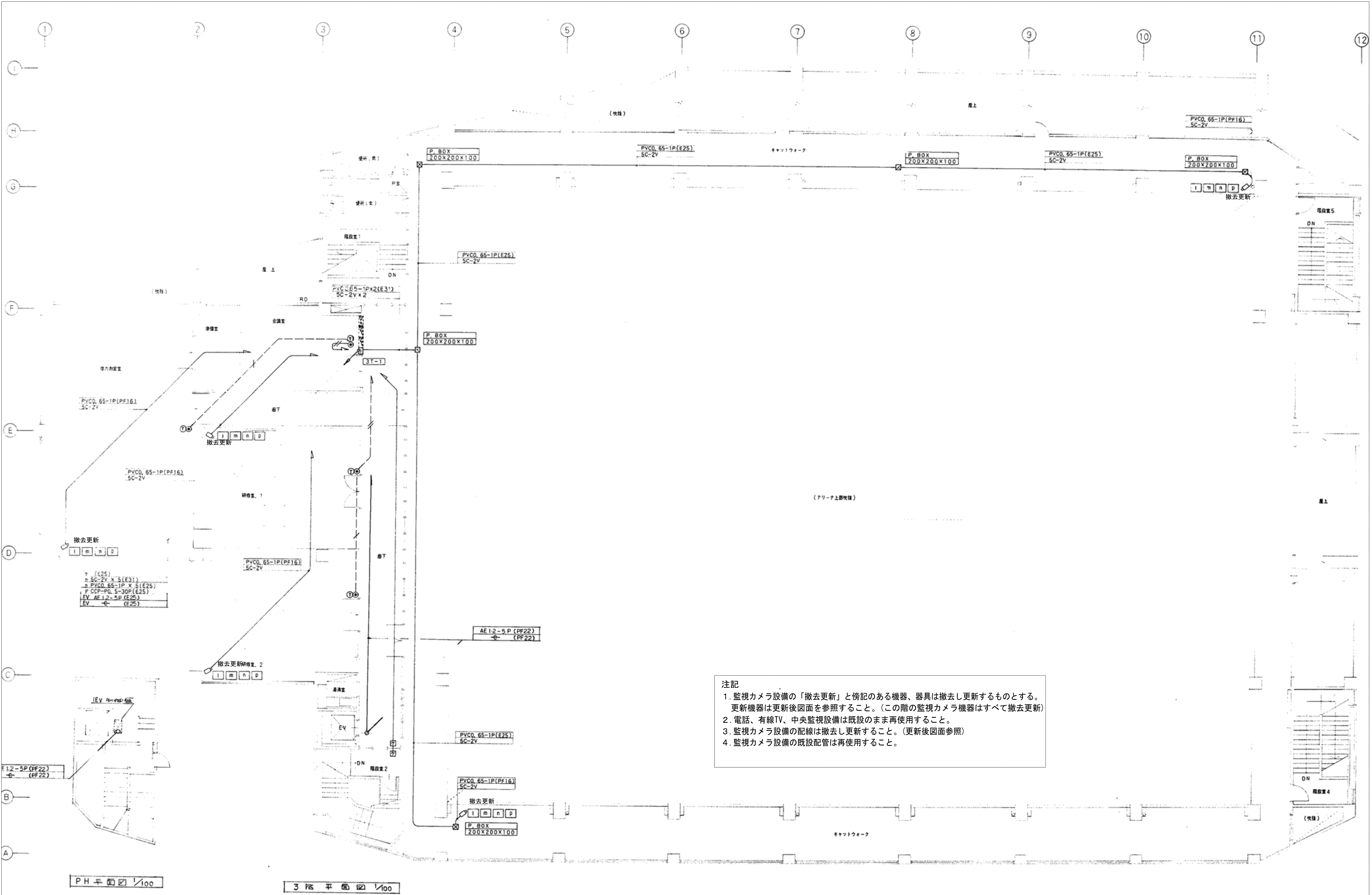


訂正	月	日	一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号	
	・			R5・9・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事			
	・			1級建築士登録第 29025 号	製図	担当	承認年月日	図面名称	更新前 1F 電話、監視カメラ、警備配管		縮尺 1:100
	・			高橋雅人	高橋	高橋	・				



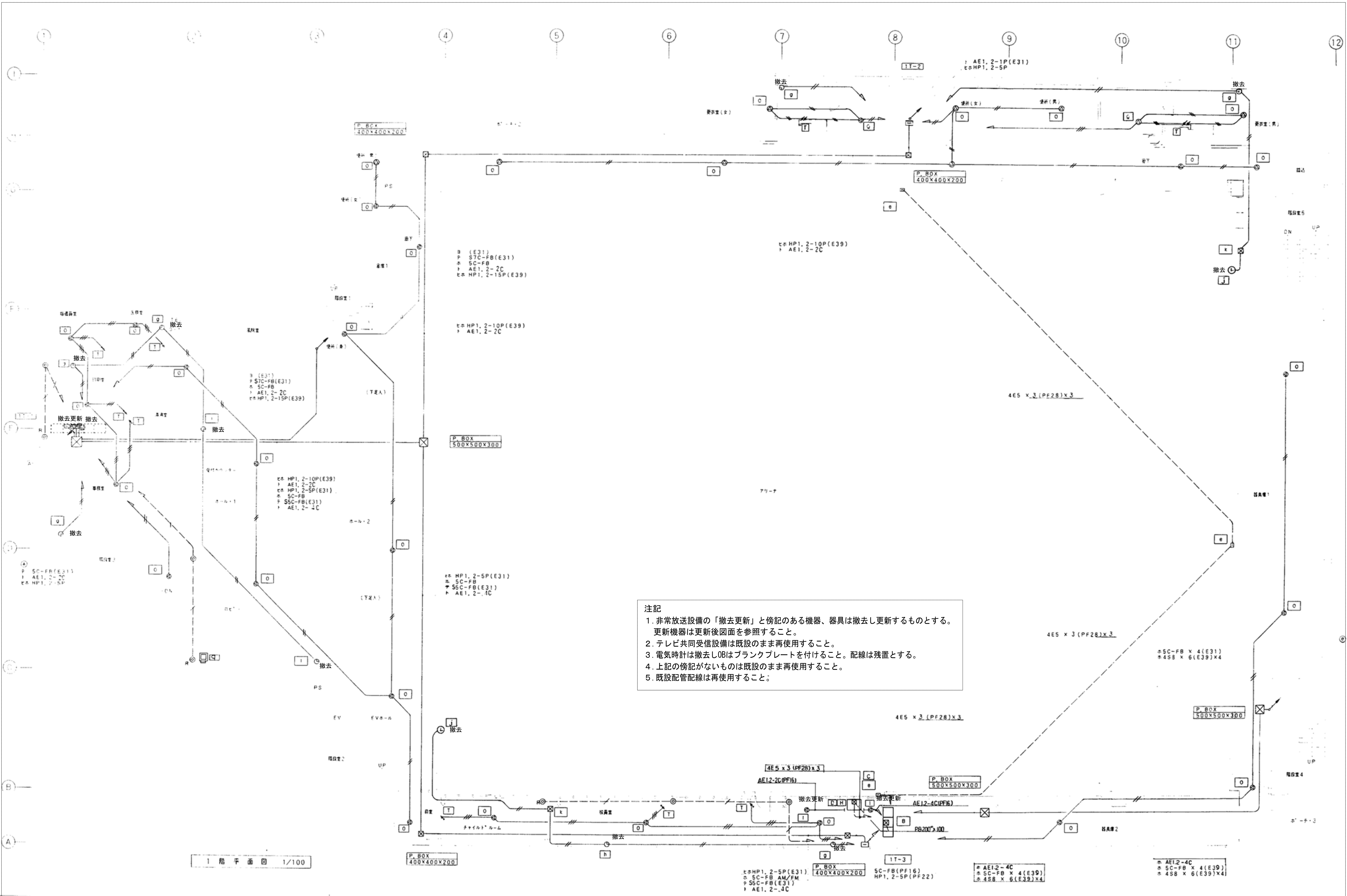
注記
1. 監視カメラ設備の「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。(この階の監視カメラ機器はすべて撤去更新)
2. 電話、有線TV、中央監視設備は既設のまま再使用すること。
3. 監視カメラ設備の配線は撤去し更新すること。(更新後図面参照)
4. 監視カメラ設備の既設配管は再使用すること。

訂正	月	日	一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
	・			R5・9・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事		
	・			1級建築士登録第 29025 号 高橋雅人	製図	担当	承認年月日	図面名称	縮尺	
	・				高橋	高橋	・	更新前 2F 電話、監視カメラ、警備配管	1:100	E — 64



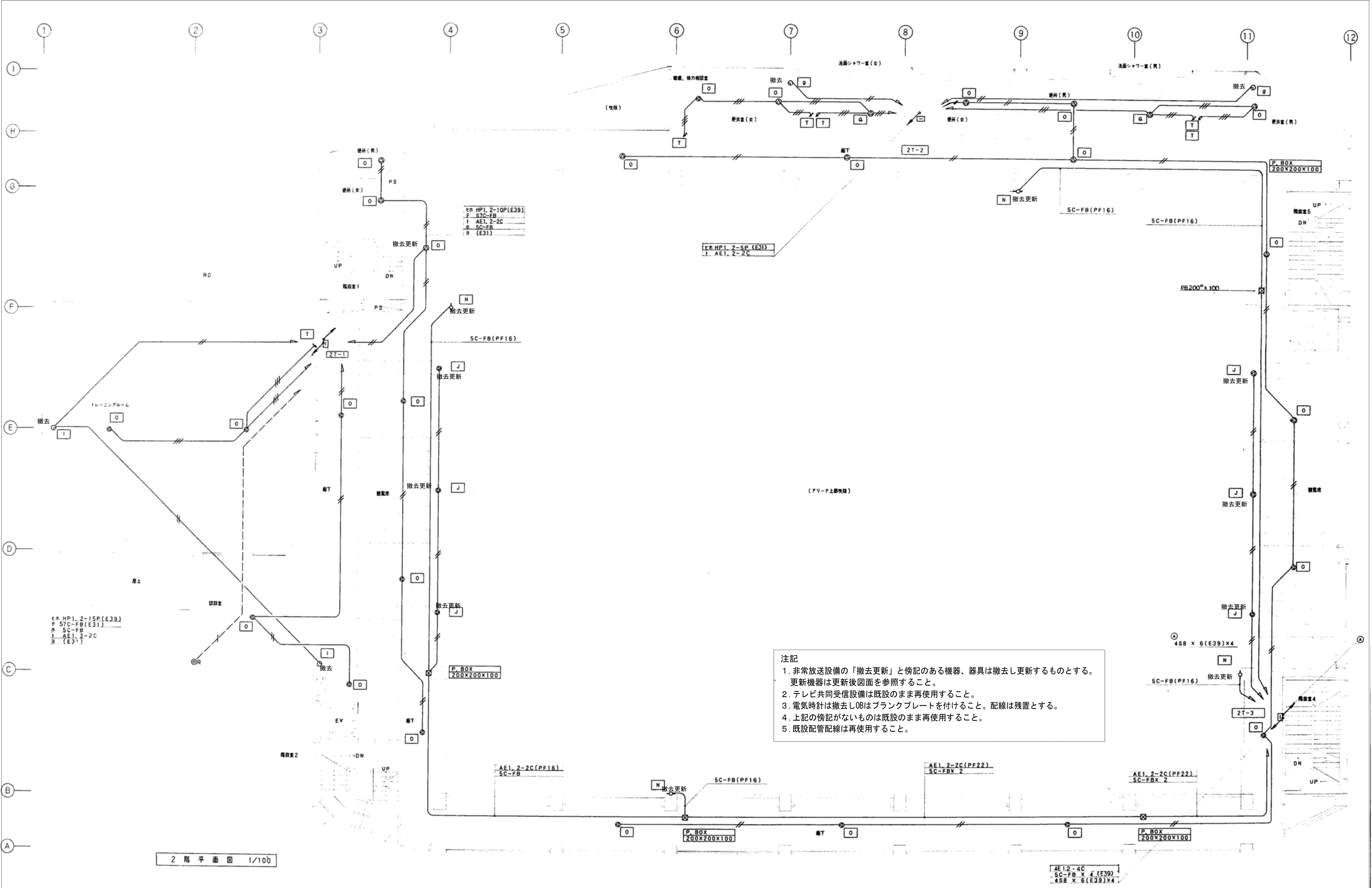
注記
1. 監視カメラ設備の「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。(この階の監視カメラ機器はすべて撤去更新)
2. 電話、有線TV、中央監視設備は既設のまま再使用すること。
3. 監視カメラ設備の配線は撤去し更新すること。(更新後図面参照)
4. 監視カメラ設備の既設配管は再使用すること。

訂正	月	日	一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
	・			R5・9・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事		
	・			1級建築士登録第 29025 号 高橋雅人	製図	担当	承認年月日	図面名称	更新前 3F 電話, 監視カメラ, 警備配管	
・					高橋	高橋	・			E — 65

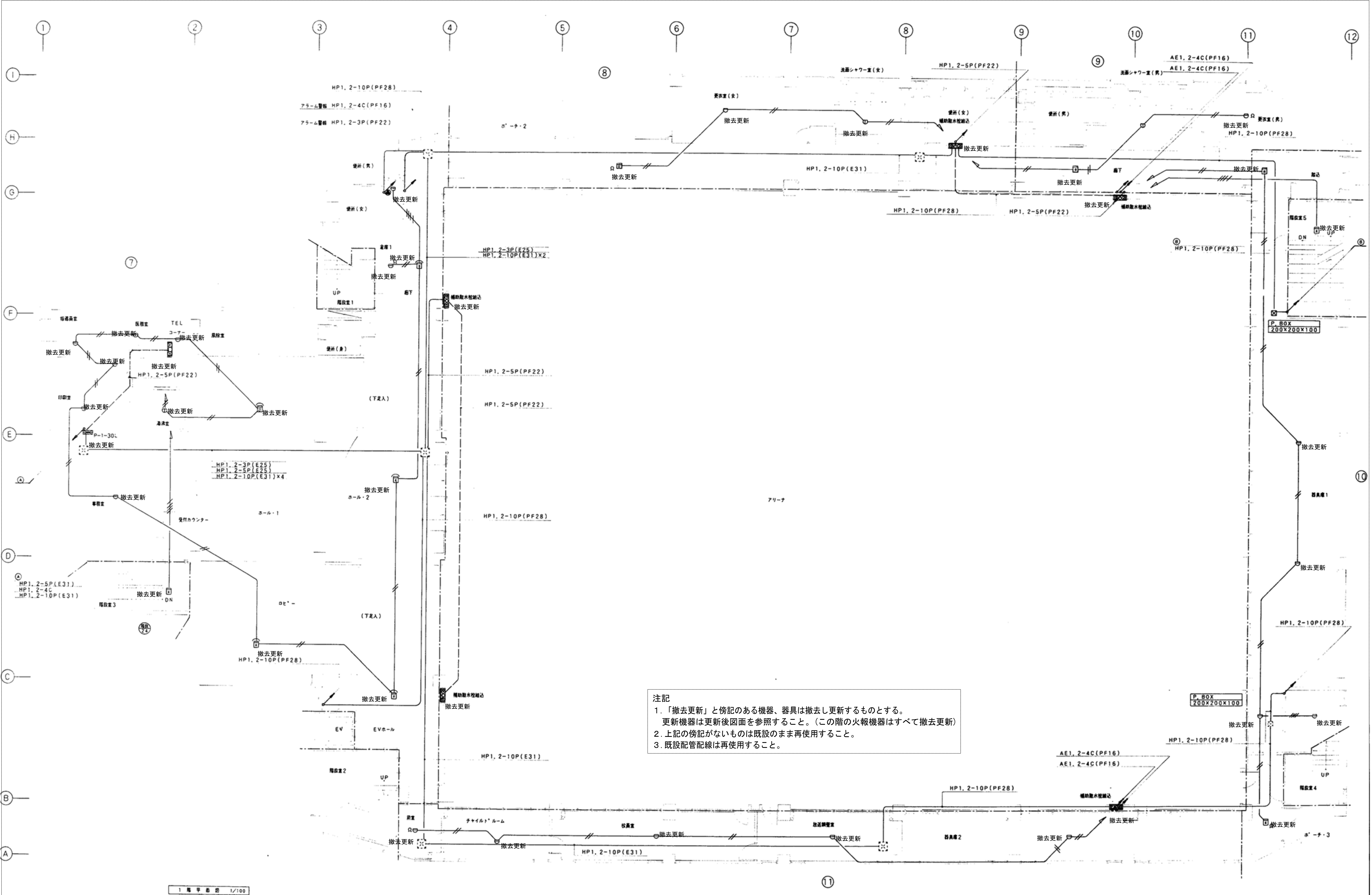


注記
1. 非常放送設備の「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。
2. テレビ共同受信設備は既設のまま再使用すること。
3. 電気時計は撤去し0Bはブランクプレートを付けること。配線は残置とする。
4. 上記の傍記がないものは既設のまま再使用すること。
5. 既設配管配線は再使用すること。

訂正	月	日	一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
	・			R5・9・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事		
	・			1級建築士登録第 29025 号 高橋雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・	図面名称 更新前 1F 非常放送、時計、テレビ	縮尺 1:100	
・									E — 67	

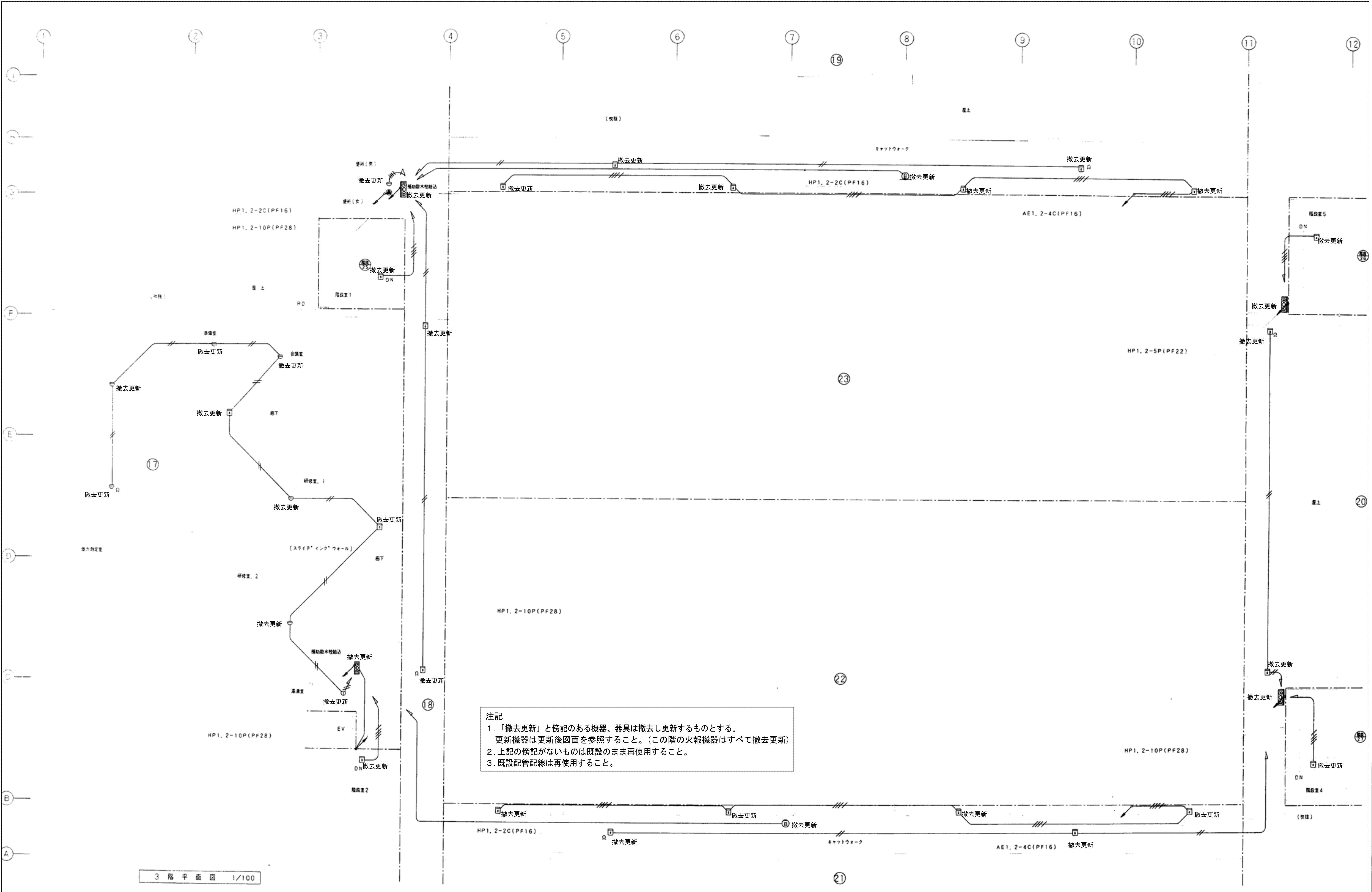


訂正	月	日	一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
	・			R5・9・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事		
	・			1級建築士登録第 26025 号	製図	担当	承認年月日	図面名称	縮尺	
	・			高橋雅人	高橋	高橋		更新前 2F 非常放送、時計、テレビ	1:100	E — 68



注記
1. 「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。(この階の火報機器はすべて撤去更新)
2. 上記の傍記がないものは既設のまま再使用すること。
3. 既設配管配線は再使用すること。

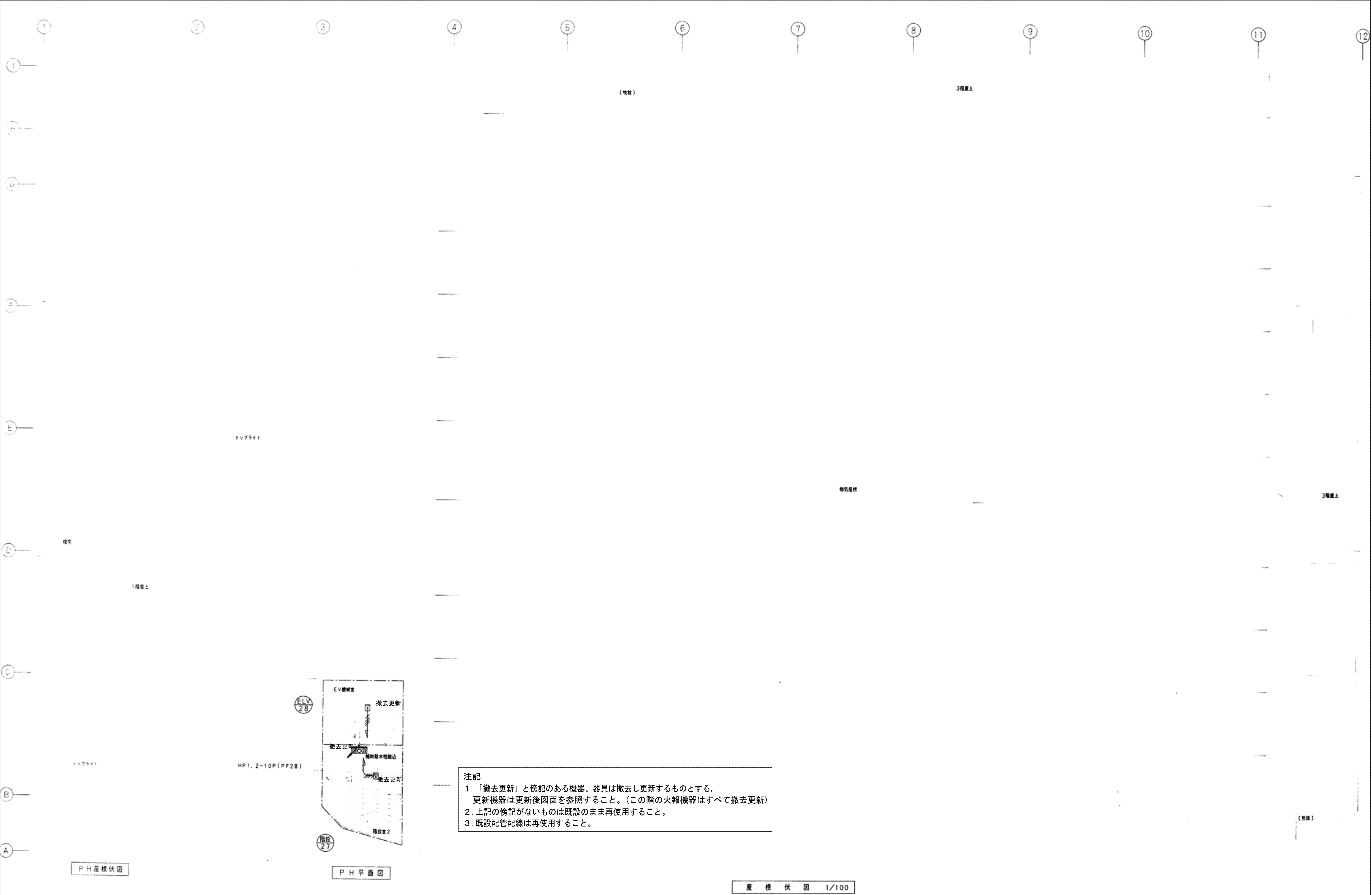
訂正	月	日	一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
	・			R5・9・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事		
	・			1級建築士登録第 26025 号 高橋雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・	図面名称 更新前 1F 自火報	縮尺 1:100	
・									E — 72	



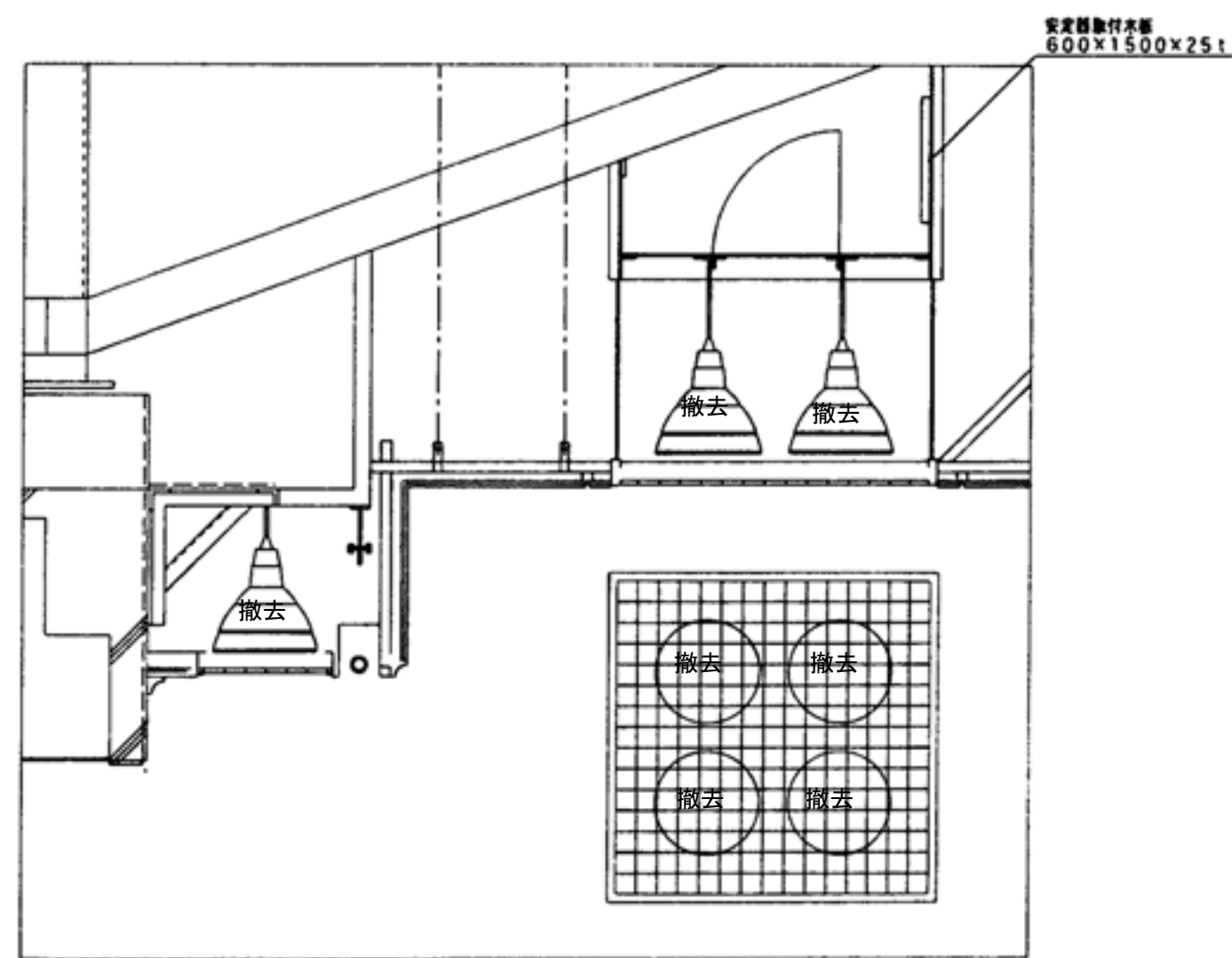
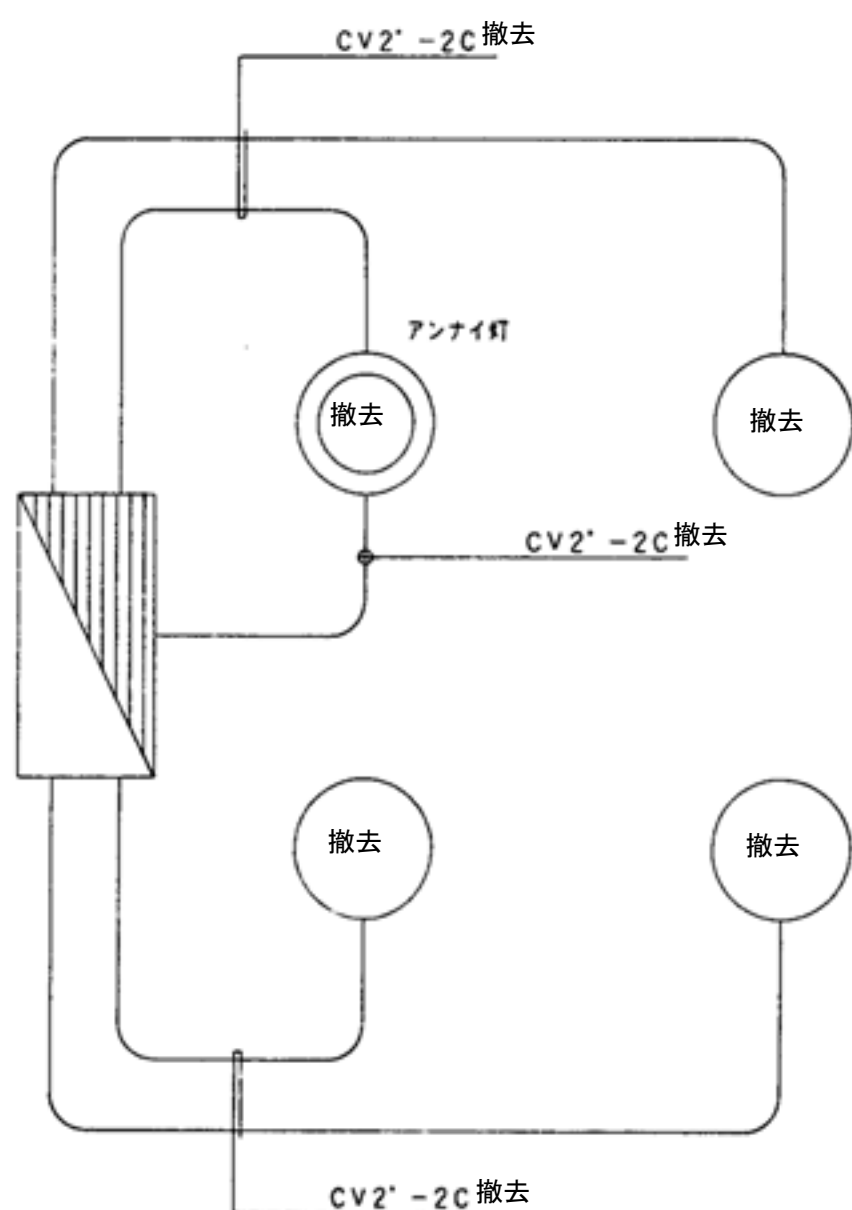
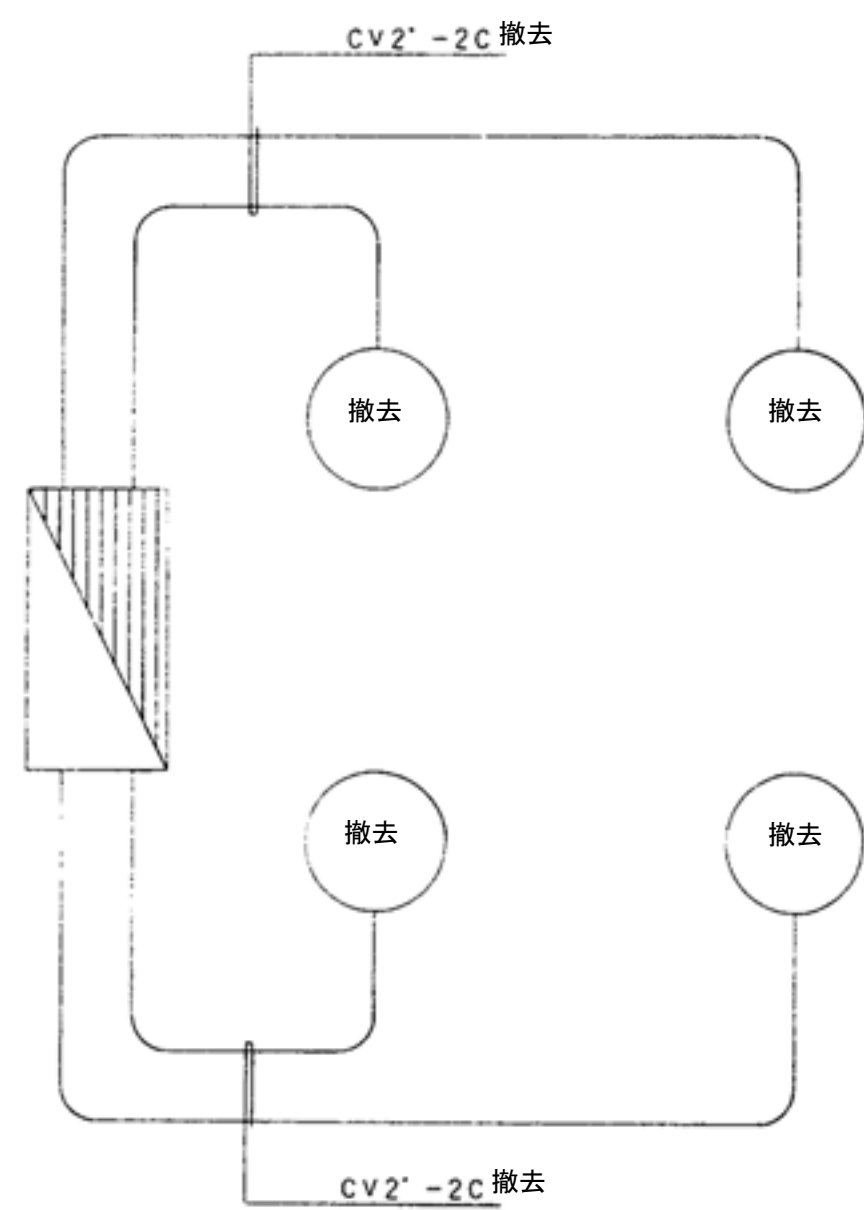
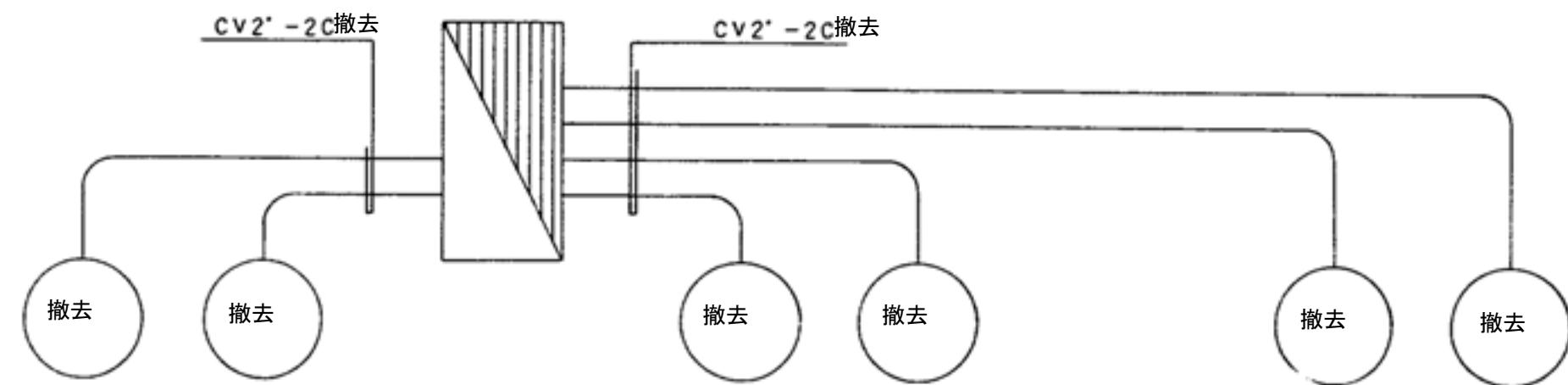
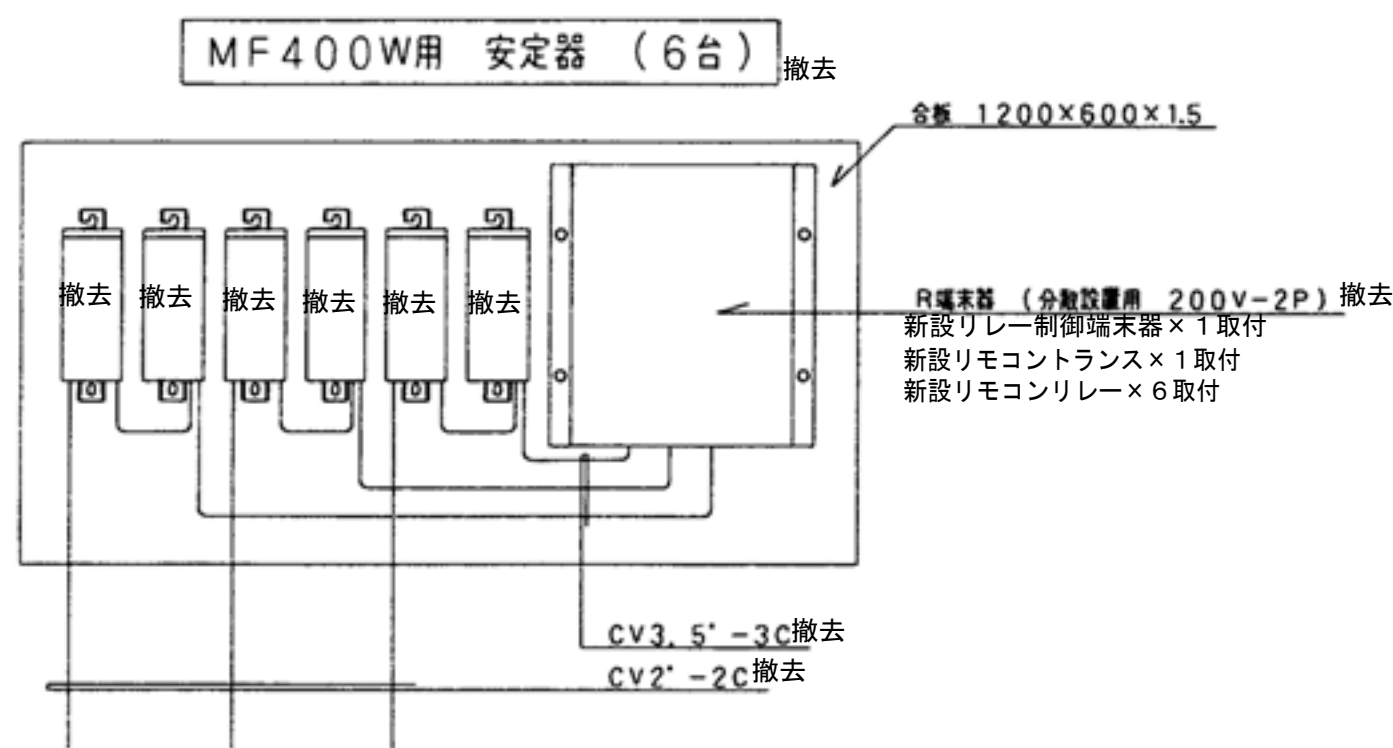
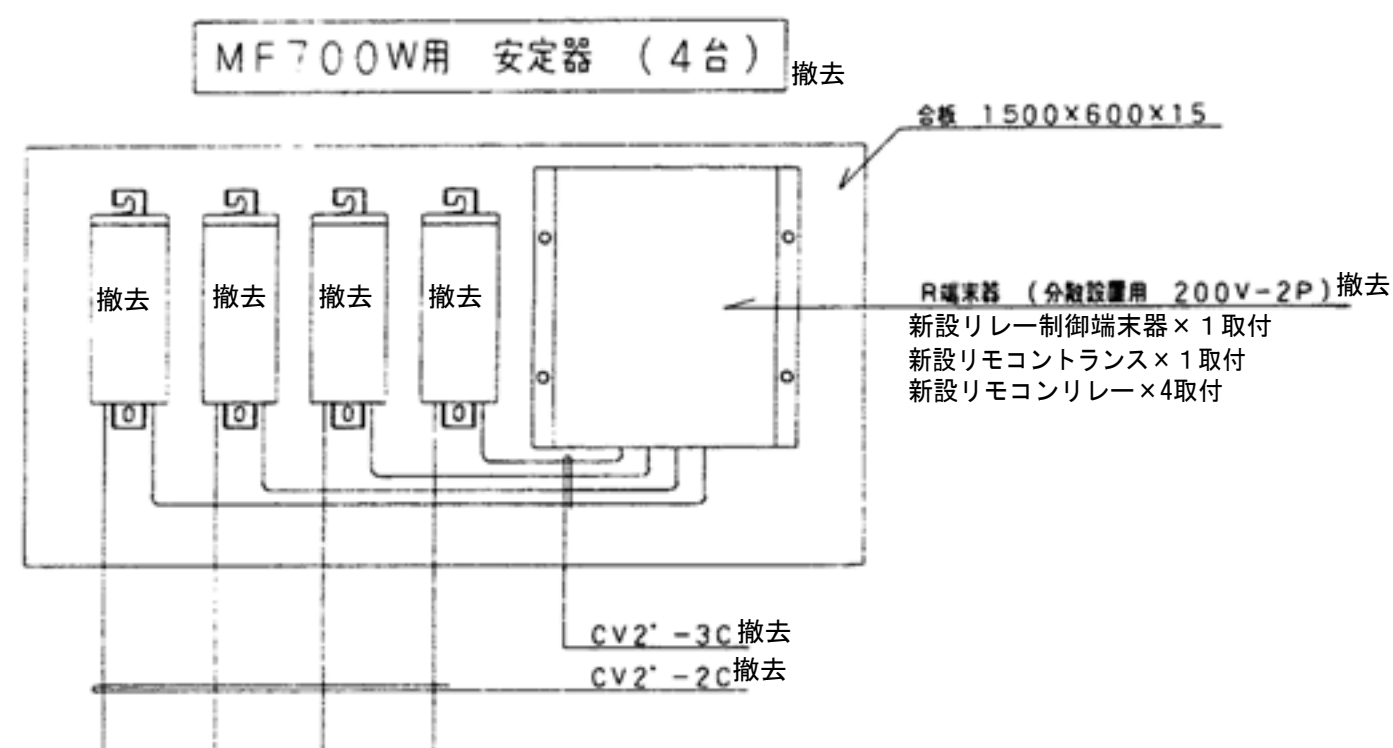
注記
1. 「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。(この階の火報機器はすべて撤去更新)
2. 上記の傍記がないものは既設のまま再使用すること。
3. 既設配管配線は再使用すること。

3 階 平 面 図 1/100

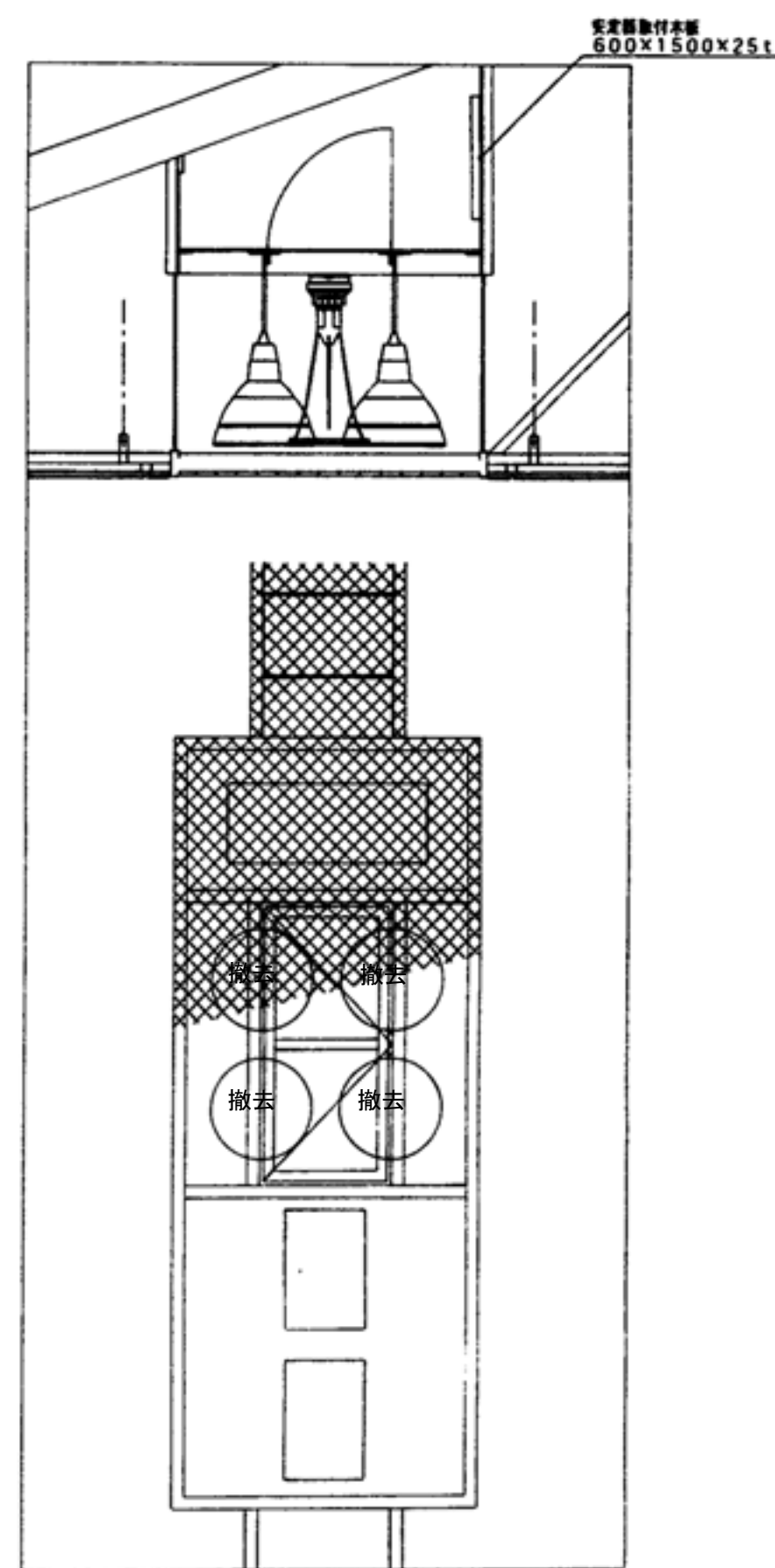
訂正	月 日	一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019) 661-8222 FAX (019) 661-8221	設計年月日 R5 . 9 .	設計 高 橋	検図 高 橋	承認印 高 橋	工事名称 盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事		図面番号 E — 74	
	・			1 級建築士登録第 29025 号 高橋雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ,	図面名称 更新前 3F 自火報		縮尺 1:100
	・									



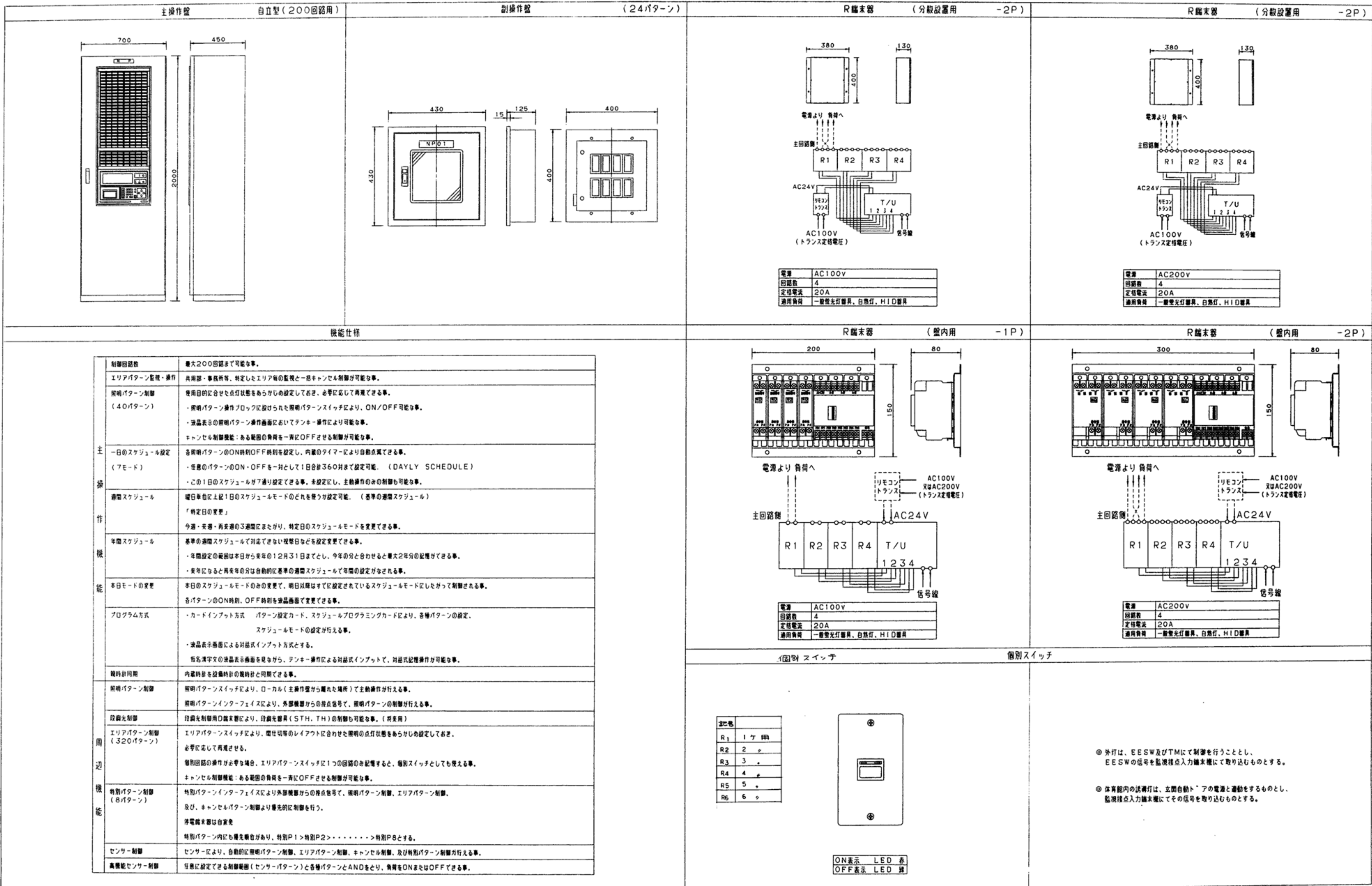
訂正	月 日	 一級建築士事務所 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 盛岡市北山二丁目 番 号 TEL (019 661-8222 FAX (019 661-8221	設計年月日 R5 . 9 .	設計 高 橋	検図 高 橋	承認印 高 橋	工事名称 盛岡体育館大規模改修(電気設備)工事		図面番号 E — 75
			1 級建築士登録第 29025 号 高橋雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 . .	図面名称 更新前 PH 自火報	縮尺 1:100	



安定器より灯までの配線CV2'-2Cは1mの金具を渡さず
アリーナ照明器具取付図 S=1/30



- 注記
- 「撤去更新」と傍記のある機器、器具、配線は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。
 - R端子器は撤去(木板は分岐端子取付板として再利用)
端子器より照明器具の配線は撤去
 - 上記の傍記がないものは既設のまま再利用すること。
 - 傍記なき既設配管配線は再利用すること。



注記
1. 照明制御機器はすべて撤去更新とする。
2. 改修内容は更新後図面を参考とする。
3. 本図面は撤去費用算出の参考図とする。

照明器具姿図

A1	FSS4-401	B1	FCR1-401	C1	FRS2-401	D	ミラー灯 FL15Wx1 (コンセント付)	E	FRS12-D131	F	蛍光灯 (吊下) FCL32+40W
A2	FSS4-402	B2	FCR1-402	C2	FRS2-402						
A3	K1-FSS4-401	B3	FSR1-401	C3	K1-FRS2-401						
A4	FSS4MP-401A										
 A3 (建築基準法適合 バッテリー内蔵型)		 B3		 C3 (建築基準法適合 バッテリー内蔵型)		 プラスチックカバー (透明)		 K2		 L	
番号: G FRF3-402		番号: H コンフォート (露出) FL40Wx2		番号: I FBS2-201		番号: J Hf32WX2		番号: K FSS1-401 FSS1-201		番号: L FL27Wツイン1X2	
 アクリル (乳白) 枠 木製 (白木) 下面開放		 アクリル (乳白) 枠 木製 (白木) 下面開放		 アクリル (乳白) 枠 木製 (白木) 下面開放		 アクリル (乳白) 枠 木製 (白木) 下面開放		 アクリル (乳白) 枠 木製 (白木) 下面開放		 アクリル (乳白) 枠 木製 (白木) 下面開放	
番号: M FRS13-D131		番号: N FL96Wツイン2X6		番号: O FL55Wツイン2X4		番号: P FL36Wツイン1X3		番号: Q FL55Wツイン1X4		番号: R FL55Wツイン1X4	
 ミニハロゲン85Wx1		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)	
番号: S ミニハロゲン85Wx1		番号: T FL27Wツイン1X2		番号: U FDL18W		番号: V1 FL96Wツイン1X4 V2 FL55Wツイン1X4		番号: W1 FBS4-401		番号: X FL10W x 1	
 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)		 アクリルパネル (乳白)	
番号: Y ディフューズタイプミラー		番号: Z 反射板 (ホワイト)		番号: AA 枠 (オフブラック)		番号: AB ルーバー (ホワイト)		番号: AC W2 (建築基準法適合 バッテリー内蔵型)		番号: AD 床面取付用金具	
番号: Y		番号: Z		番号: AA		番号: AB		番号: AC		番号: AD	

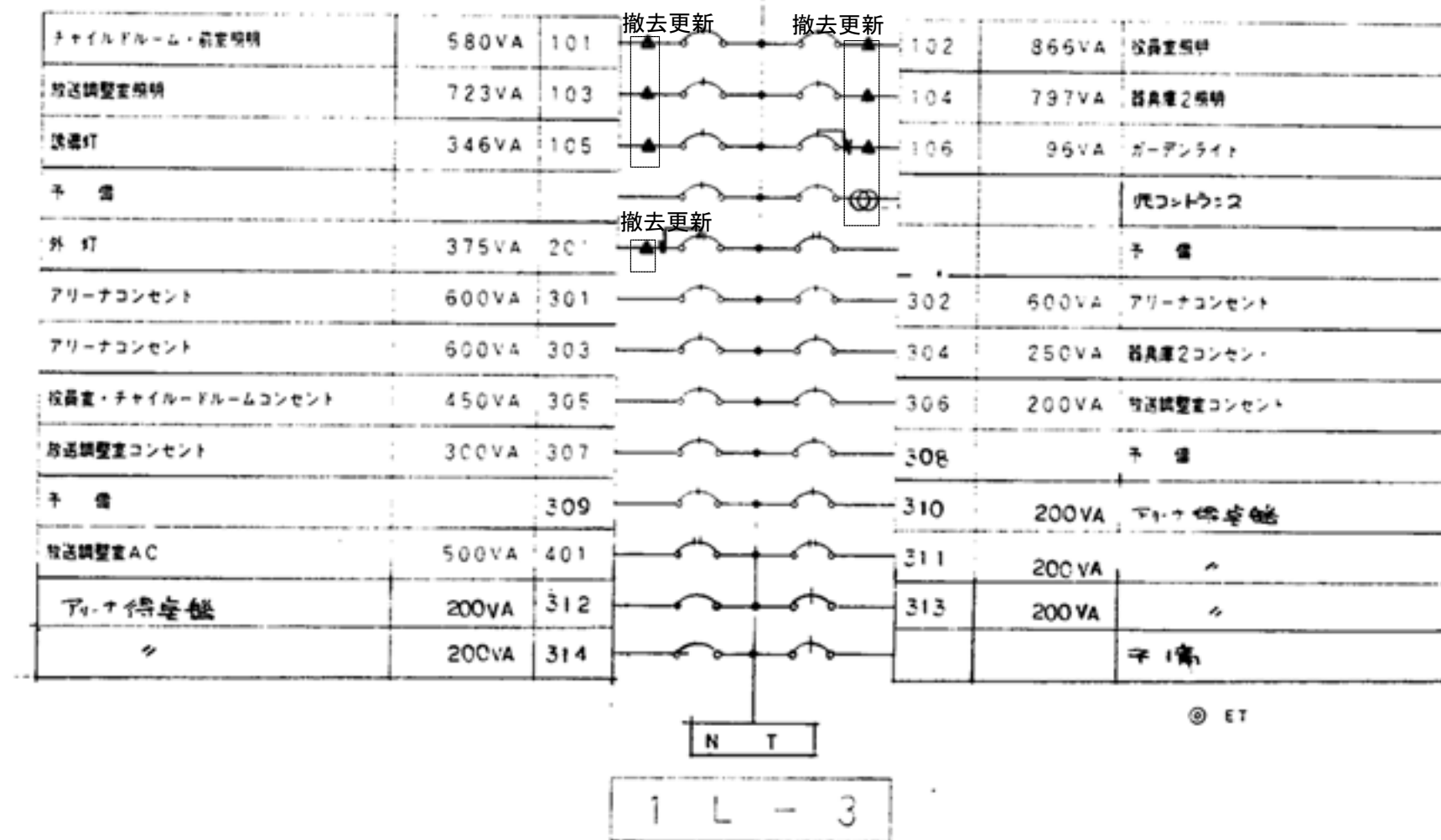
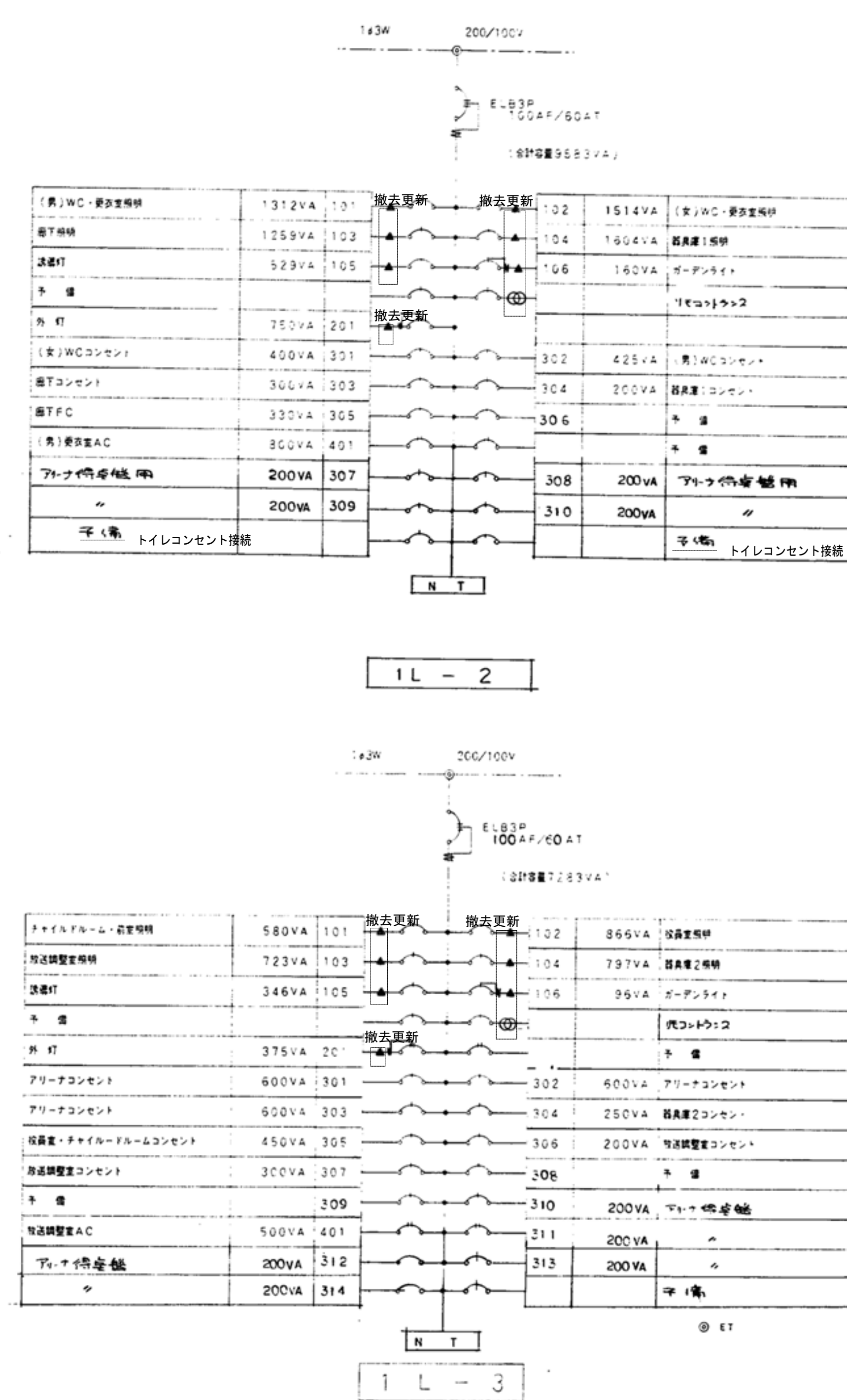
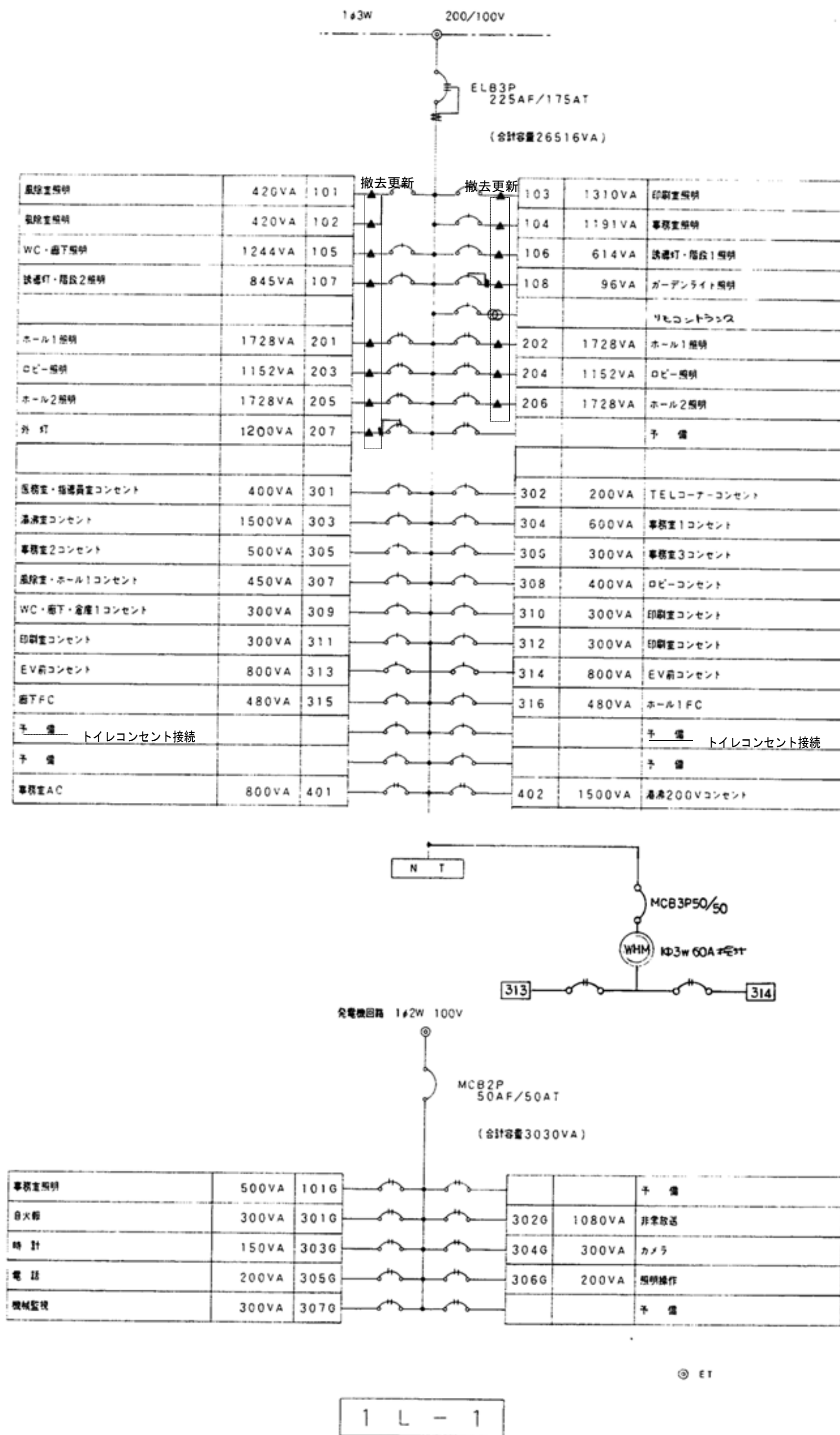
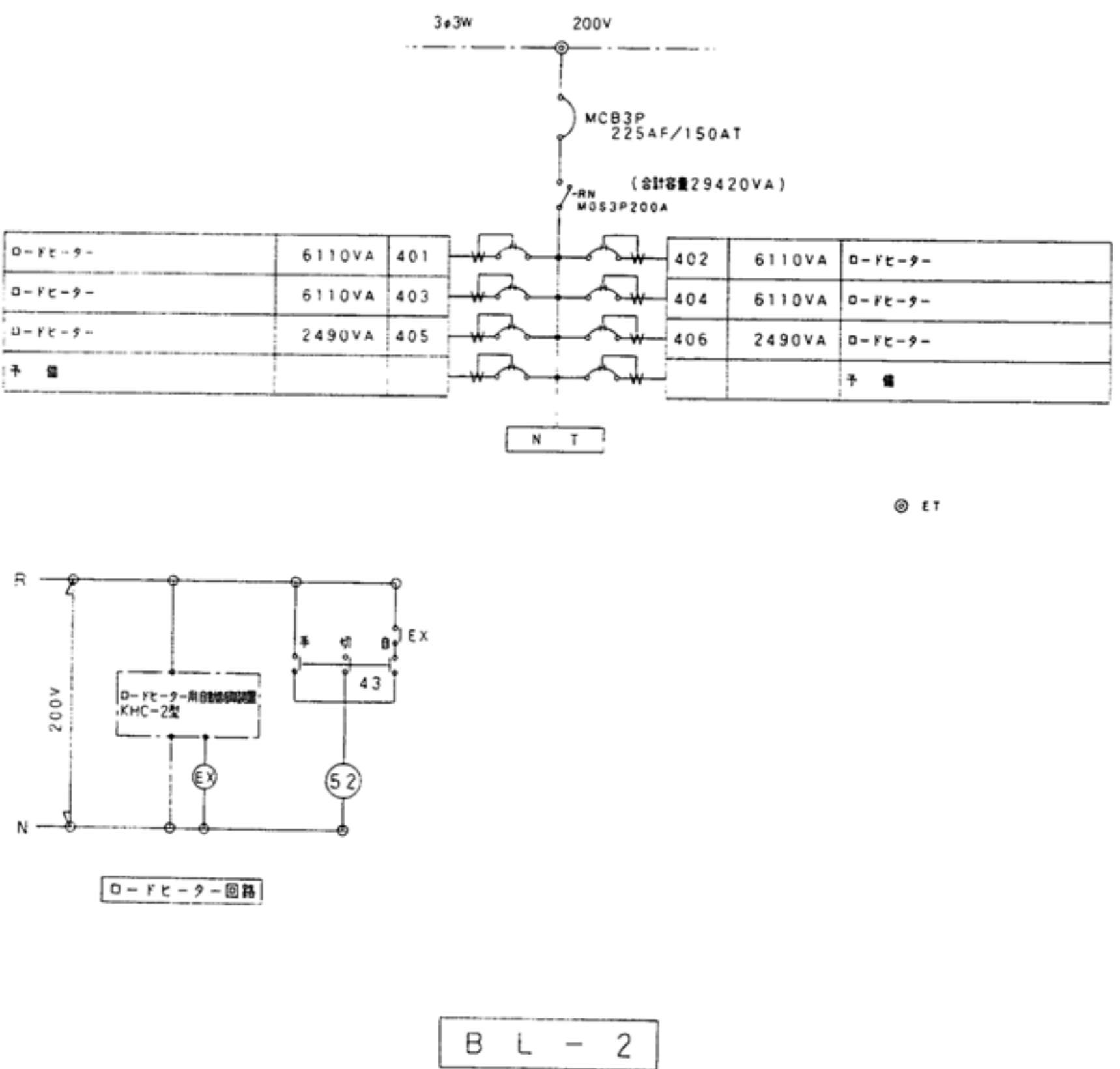
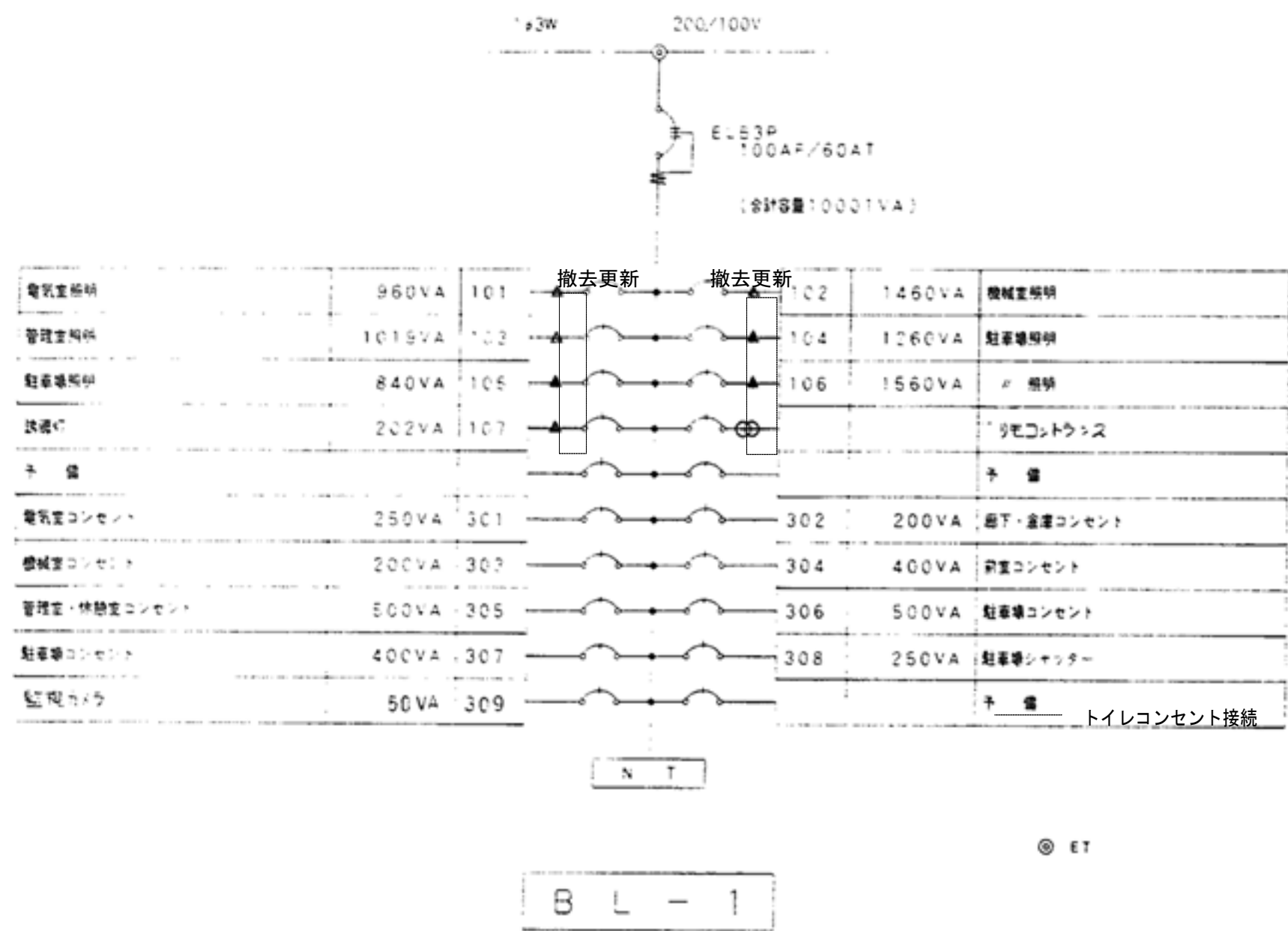
注記

1. 照明器具はすべて撤去更新とする。
2. 本姿図は撤去費用算出の参考図とする。

照明器具姿図

Y FL 9W X 1		Z FL 20WX 1 片取型		a 白熱灯(増込) 1L50W		D1 SK1-FSS4-401		d2 SK1-FST12-401		e FL36Wツイン1×2	
備考: f1 高輝度誘導灯、大型、天井直付型 f2 高輝度誘導灯、大型、壁埋込型		備考: g1 高輝度誘導灯、中型、天井直付型 g2 高輝度誘導灯、中型、壁埋込型 g4 高輝度誘導灯、中型、壁埋込型、(ガード付)		備考: h ST1-FBF10-101		備考: i1 FL 20W X 1 片取型		備考: j K1-IRS4-J10		備考: k K1-IRS4-J23	
備考: m FL13Wツイン2×1		備考: n MF700W安定器200V低始動電流型		備考: q MF700W安定器200V低始動電流型		備考: r MF400W安定器200V高効率		備考: v1 スカイビーム250W 安定器200V高効率		備考: v2 スカイビーム250W×2 安定器200V高効率	
備考: t ミニハロゲン 250W		備考: u FL27Wツイン2×1		備考: w MF250W X 1		備考: x FBC2 RP-JQ1					
備考:		備考:						備考:		備考:	

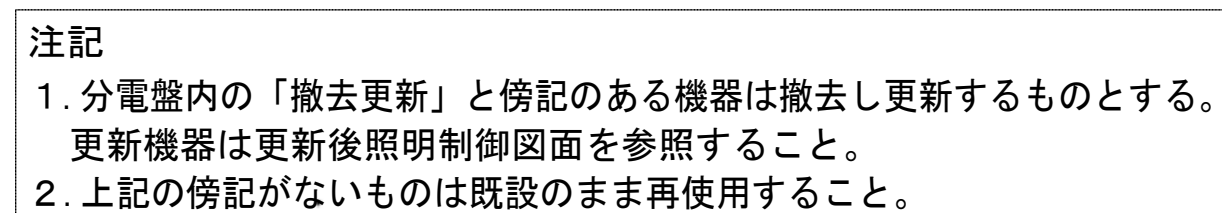
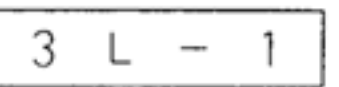
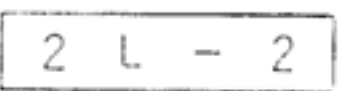
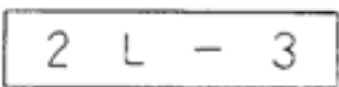
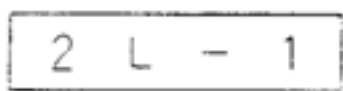
注記
1. 照明器具はすべて撤去更新とする。
2. 本姿図は撤去費用算出の参考図とする。



端末器室内用取付表 撤去更新							
	BL-1	1L-1	1L-2	1L-3	2L-1	2L-3	3L-2
R 端末器 1P 4回線用	2	2	1	1	4	1	3
R 端末器 2P 4回線用		2	1	1			1

凡例	
	端末器リレー
	ELB2P50AF/20AT
	MCB1P50AF/20AF
	MCB2P50AF/20AT

注記
 1. 分電盤内の「撤去更新」と傍記のある機器は撤去し更新するものとする。
 更新機器は更新後照明制御図面を参照すること。
 2. 上記の傍記がないものは既設のまま再使用すること。



様式-1 <最大最終>
自家発電設備出力計算書

特性等		自家発電設備	
(1) 対象負荷機器		(1) 種 類	屋内形キュービクル式即時長時間
様式2の通り		(2)	
(2) 発電機 特性		(3) 発電機出力	1150 kVA 極 数 4 極 定格電圧 200 V 定格周波数 50 Hz 定格力率 .80 定格回転数 1500 rpm
xd'g = .250 △S = .30 KG3 = 1.50 KG4 = .15 γg = .876		(4) 原動機出力	ディーゼルエンジン 定格回転数 1500 rpm 使用燃料 A重油
(3) 原動機 特性		(5) 整合比	1.02
a = .25 ε = 1.00 γ = 1.10			
(4) 負荷機器			
**D = 1.00 **d = 1.00			

様式-2 <最大最終>

自家発電設備出力計算シート (負荷機)					件名: 上野公園用電化管線改修工事																								
番号	負荷機名	消防設備	記号	台数	消費電力 kW	出力 mi (kW)	Np (kW)	始動方式	N2の選定	N3の選定	N'2の選定	N'3の選定	高調波発生率 R1 (kW)	不 平 衡 負 荷															
									①	②	③	④		R-S S-T T-R															
1	スプリンクラーポンプ	F	NL	1	18.50	18.50		Y	88.1	64.8	29.0	24.0	.0	.0 .0 .0															
2	消防水ポンプ	F	NL	1	30.00	30.00		Y	142.9	105.6	32.8	24.7	.0	.0 .0 .0															
3	スコットトランス		EL	1	10.00	10.00			10.0	-3.6	1.6	-1.2	.0	3.3 3.4 3.3															
合 計					負荷出力合計値 K					①の値が最大のH1 mi=N2=30.0				②の値が最大のH1 mi=N3=30.0				③の値が最大のH1 mi=N'2=30.0				④の値が最大のH1 mi=N'3=30.0				ΣR1=R2=0.0			
及び選定					K = Σ mi = 58.50					最大値: A 3.36 次の値: B 3.3 最小値: C 3.3																			
①: $\frac{K}{2} \times mi$					②: $\left(\frac{K}{2} - \frac{d}{\psi \times \cos \theta}\right) \times mi$					③: $\left(\frac{K}{2} \times \cos \theta - (\varepsilon - a) \times \frac{d}{\psi}\right) \times mi$					④: $\left(\frac{K}{2} \times \cos \theta - \varepsilon - \frac{d}{\psi}\right) \times mi$														

PG-140

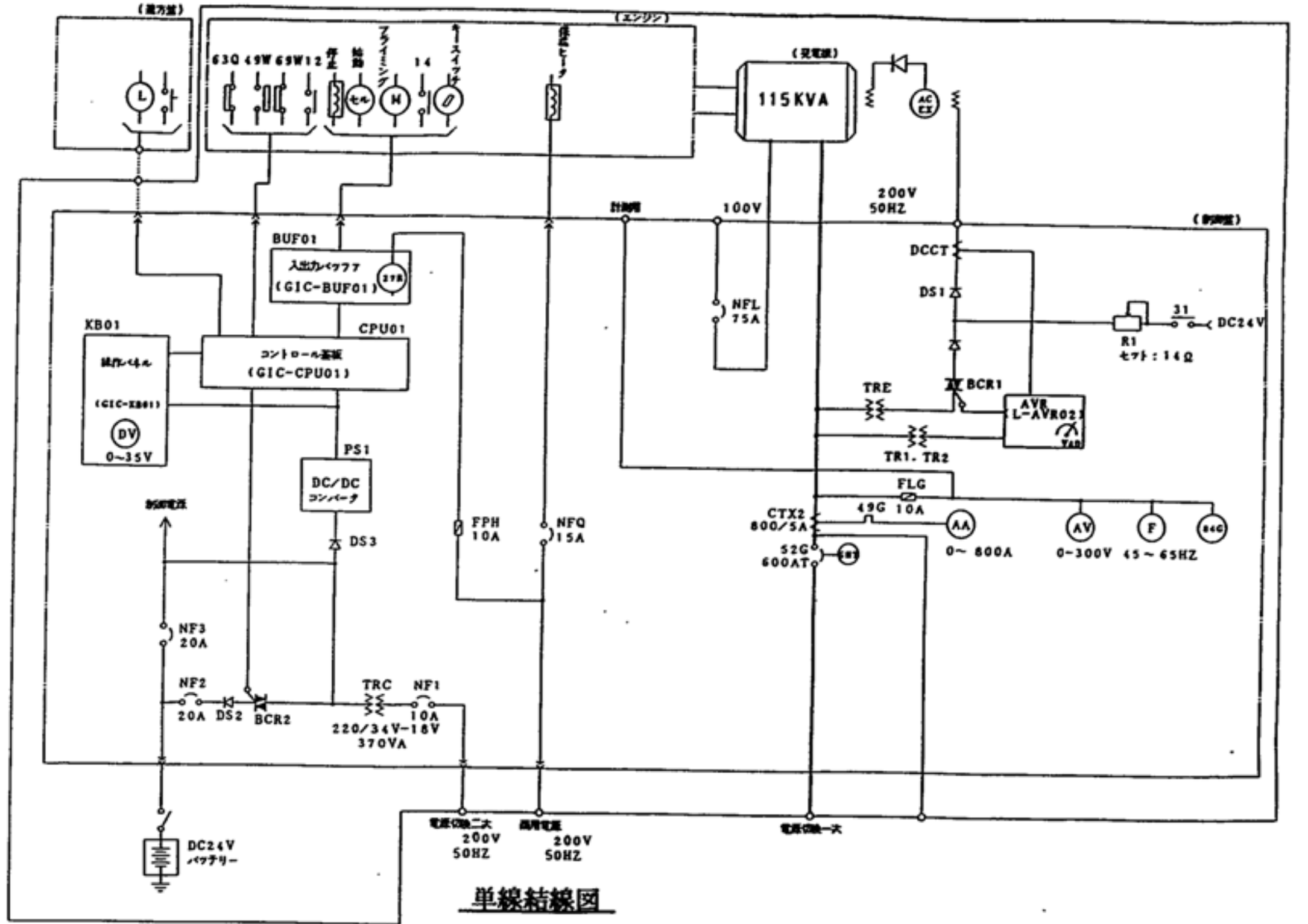
様式-3 <最大最終>

自家発電設備出力計算シート (発電機)				
RG1	$= \frac{1}{\psi L} \times D \times Sf \times \frac{1}{\cos \theta g} = \frac{1}{.912} \times 1200 \times 1200 \times \frac{1}{.876} = 16371$ $\Delta P = A + B - 2C = 16371 + 16371 - 2 \times 16371 = 0$ $u = \frac{(A - C)}{\Delta P} = \frac{(16371 - 16371)}{0} = 1.00$ $Sf = \sqrt{1 + \frac{\Delta P}{K} + \left(\frac{\Delta P}{K}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $= \sqrt{1 + \frac{0}{58.5} + \left(\frac{0}{58.5}\right)^2 \times (1 - 3 \times 1.00 + 3 \times 1.00^2)} = 1.00$	RG1	16371	
RG2	エレベーター 馬	$= \frac{(1 - \Delta E)}{\Delta E} \times xd'g \times \frac{K}{Z'm} \times \frac{M2}{K}$ $= \frac{(1 - .30)}{.30} \times 1250 \times \frac{.67}{.140} \times \frac{30.0}{58.5} = 11426$	RG2	11426
RG3		$= \frac{1}{KG3} \times \left(\frac{d}{(\psi b \cos \theta b)} + \left(\frac{K}{Z'm} - \frac{d}{(\psi b \cos \theta b)} \right) \times \frac{M3}{K} \right) \times fv1$ $= \frac{1}{1.50} \times \left(\frac{1.00}{(.926 \times .876)} + \left(\frac{.67}{.140} - \frac{1.00}{(.926 \times .876)} \right) \times \frac{30.0}{58.5} \right) \times .82$ $= 11426$	RG3	11426
RG4		$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{KG4} \times \sqrt{\left(H - R \Delta F \right)^2 + \left(\frac{\Delta P}{\psi \times \cos \theta \phi} \right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $\times H = hb \times \sqrt{\Sigma \left(\frac{R6 \times hb}{\psi \times \cos \theta 1} \right)^2 + \left(\frac{(RA+RB) \times hb \times hph}{\psi \times \cos \theta 1} \right)^2}$ $= \frac{1}{58.5} \times \frac{1}{1.16} \times \sqrt{\left((1200 - 1200) - \left(\frac{1}{.926} \right) \right)^2 + \left(\frac{1}{.926} \right)^2 \times (1 - 3 \times 1.00 + 3 \times 1.00^2)}$ $= 114011$	RG4	114011
RG	RG<3> = 11426 RG1, RG2, RG3, RG4のうち最大値		RG	11426
発電機計算出力 (kVA)		G' = RG × K = 11426 × 58.5 = 666500	発電機定格出力 (kVA) G = 1150	

備 考: G は G' の値の 95% 以上の値とする。

PG-140

発電機主要諸元値			
交流発電機	原 動 機		
出力 115KVA	種 類	ディーゼルエンジン	
電 圧 200V	出 力	147PS	
電 流 346A	回転速度	1500rpm	
周 波 数 50Hz	起動方式	スター方式	
回転速度 1500rpm	潤滑方式	強制循環式	
極 数 4P	燃料種類	A重油	
力 率 .80S	1/2h 容量	ε (別置)	
励磁方式 ブラシレス	蓄電池	100AH	
冷却方式 自己通風	騒 音	低騒音	
定 格 連続	定 格 連続		
	冷却方式	ラジエーター冷却	
	特殊仕様	寒冷地仕様付	
保護項目			
保護項目	機関停止	遮断器切	警報表示
始動渋滞	○	—	○
過 速 度	○	—	○
油圧低下	○	—	○
水温上昇	○	—	○
過 電 流	—	○	○



単線結線図

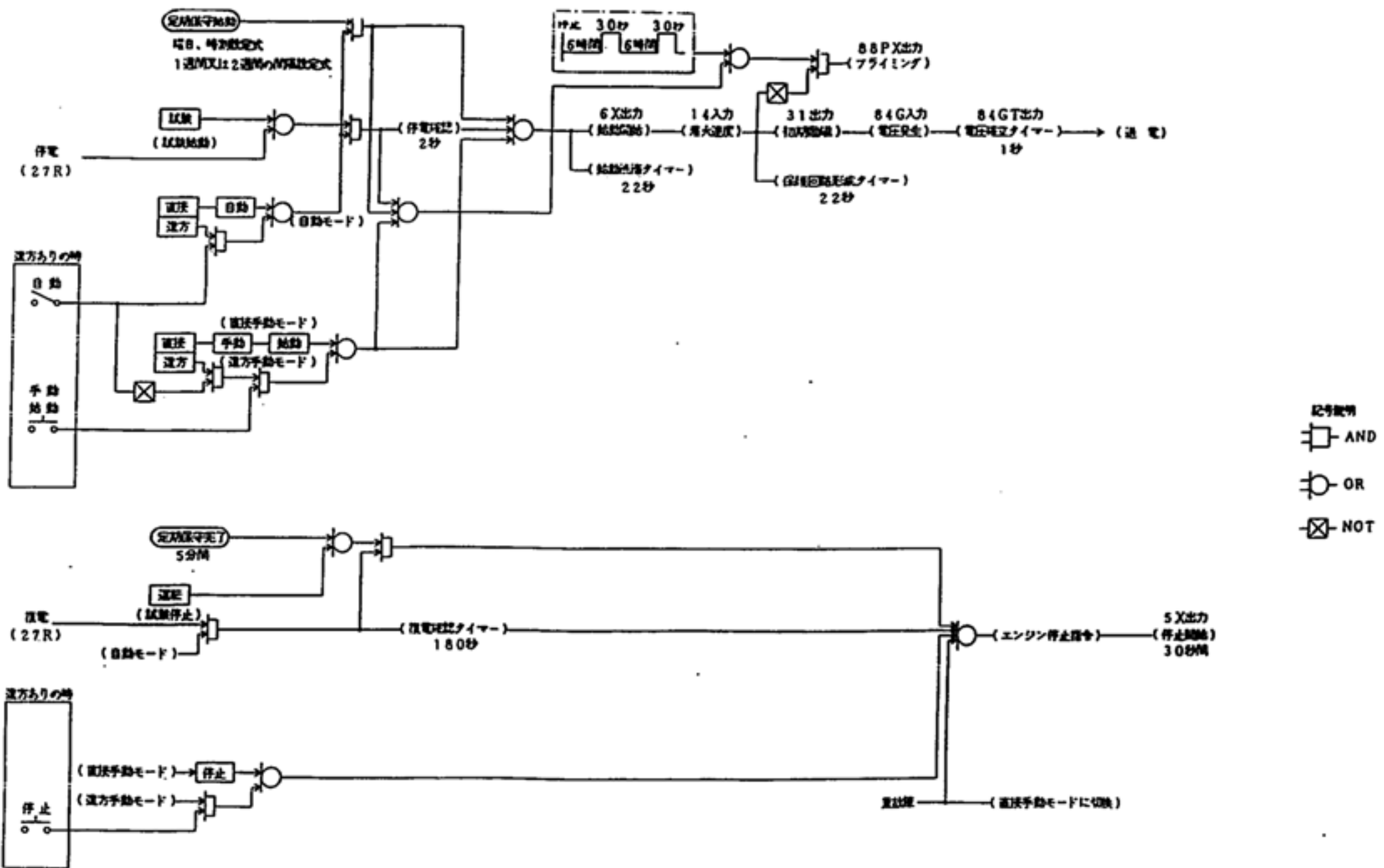
様式-4 <最大最終>

自家発電設備出力計算シート (原動機、整合)		保護項目	
RE1	$= \left(\frac{1}{\psi L} \right) \times D \times \left(\frac{1}{\psi E} \right) = \left(\frac{1}{.912} \right) \times 1200 \times \left(\frac{1}{.876} \right) = 16251$	RE1	16251
RE2	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{fv2}{\psi E} \times \left((\varepsilon - a) \times \frac{d}{\psi b} + \left(\frac{K}{Z'm} \times \cos \theta s - (\varepsilon - a) \times \frac{d}{\psi b} \right) \times \frac{M'2}{K} \right)$ $= \frac{1}{1.00} \times \frac{.89}{.832} \times \left((1.00 - .825) \times \frac{1.00}{.926} + \left(\frac{.67}{.140} \times .440 - \left(1.00 - .825 \right) \times \frac{1.00}{.926} \right) \times \frac{30.0}{58.5} \right)$ $= 114661$	RE2	114661
RE3	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{fv3}{\psi E} \times \left(\frac{d}{\psi b} + \left(\frac{K}{Z'm} \times \cos \theta s - \frac{d}{\psi b} \right) \times \frac{M'3}{K} \right)$ $= \frac{1}{1.10} \times \frac{.97}{.832} \times \left(\frac{1.00}{.926} + \left(\frac{.67}{.140} \times .440 - \frac{1.00}{.926} \right) \times \frac{30.0}{58.5} \right)$ $= 11598$	RE3	11598
RE	RE<3> = 11598 RE1, RE2, RE3のうち最大値	RE	11598
原動機計算出力 E'	$E' = 1.36 \times RE \times K = 1.36 \times 11598 \times 58.5 = 1127.2 \text{ (PS)}$		
原動機定格出力 E	HR' = 1.02 (1.0 > HR' の為 HR=1.0とし E'を逆算しました) E' = 11426 (PS) HR = 1.02 (1.0 ≤ HR)	E	114700 (PS)

自家発電設備の出力	G = 11500 kVA	力率 = .80	E = 114700 PS
-----------	---------------	----------	---------------

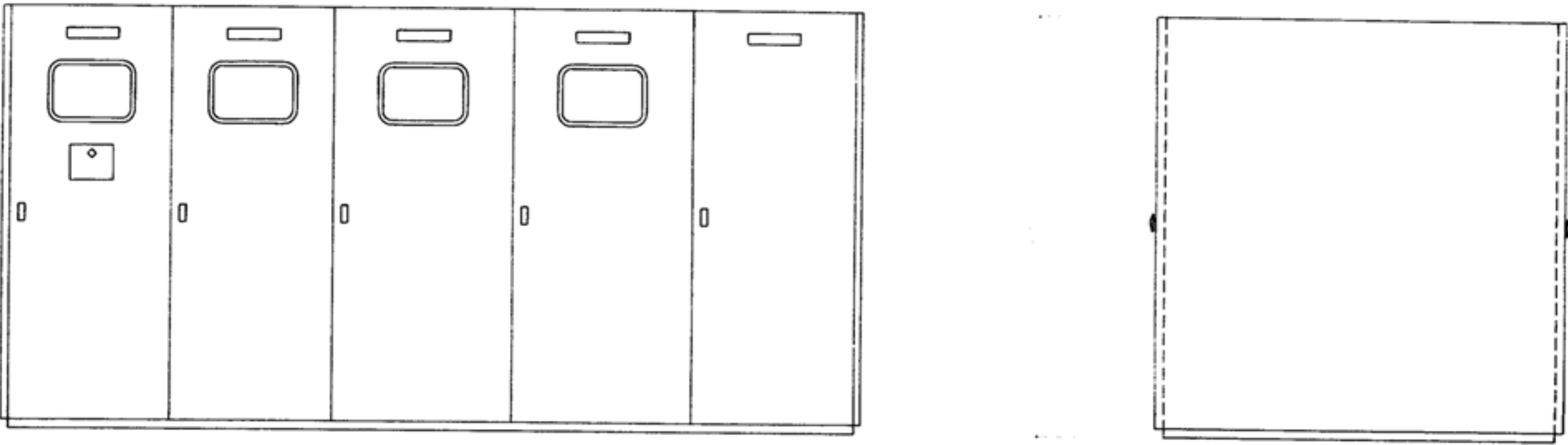
備 考: E は E' 又は E* の値以上の値とする。

PG-140

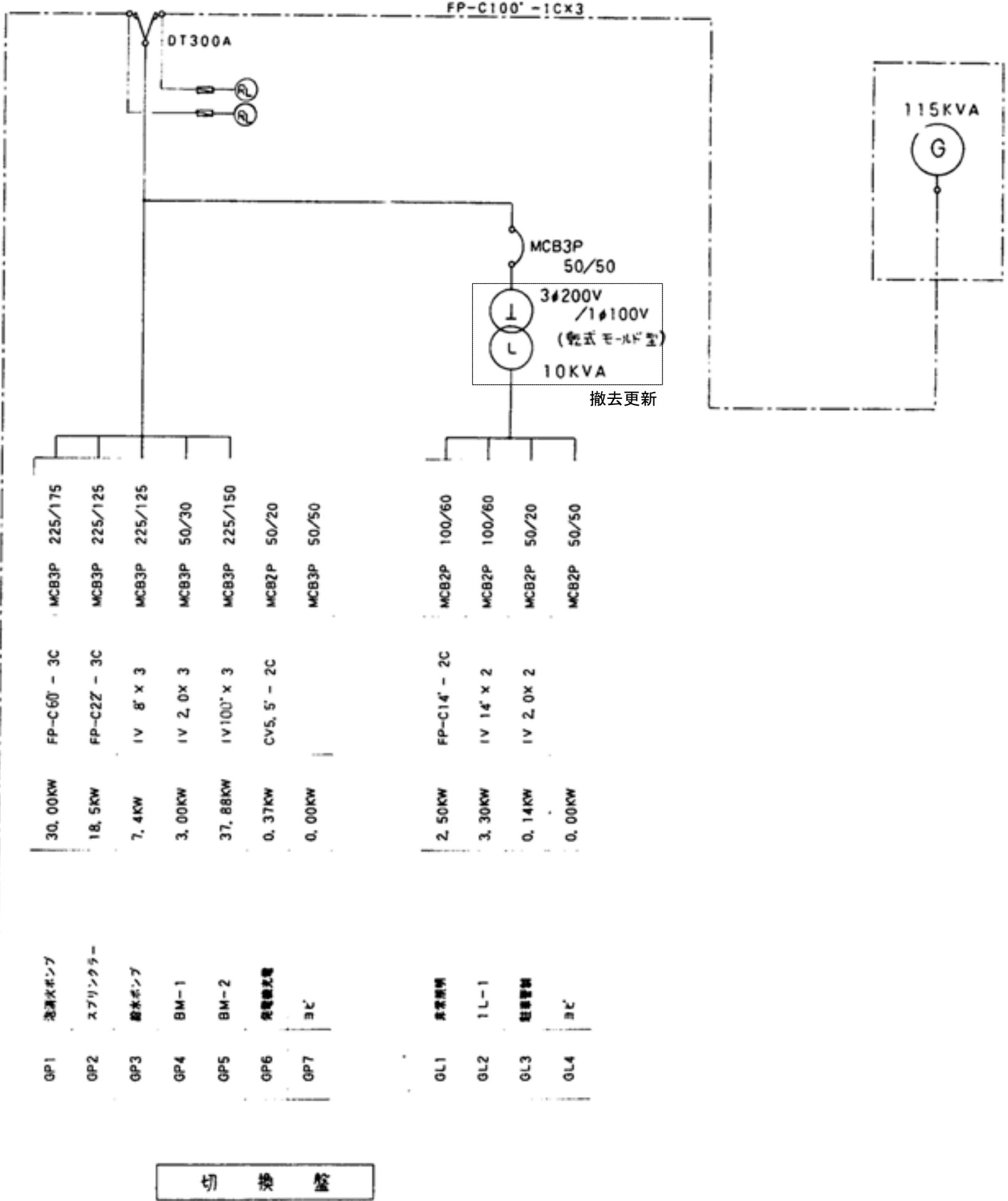
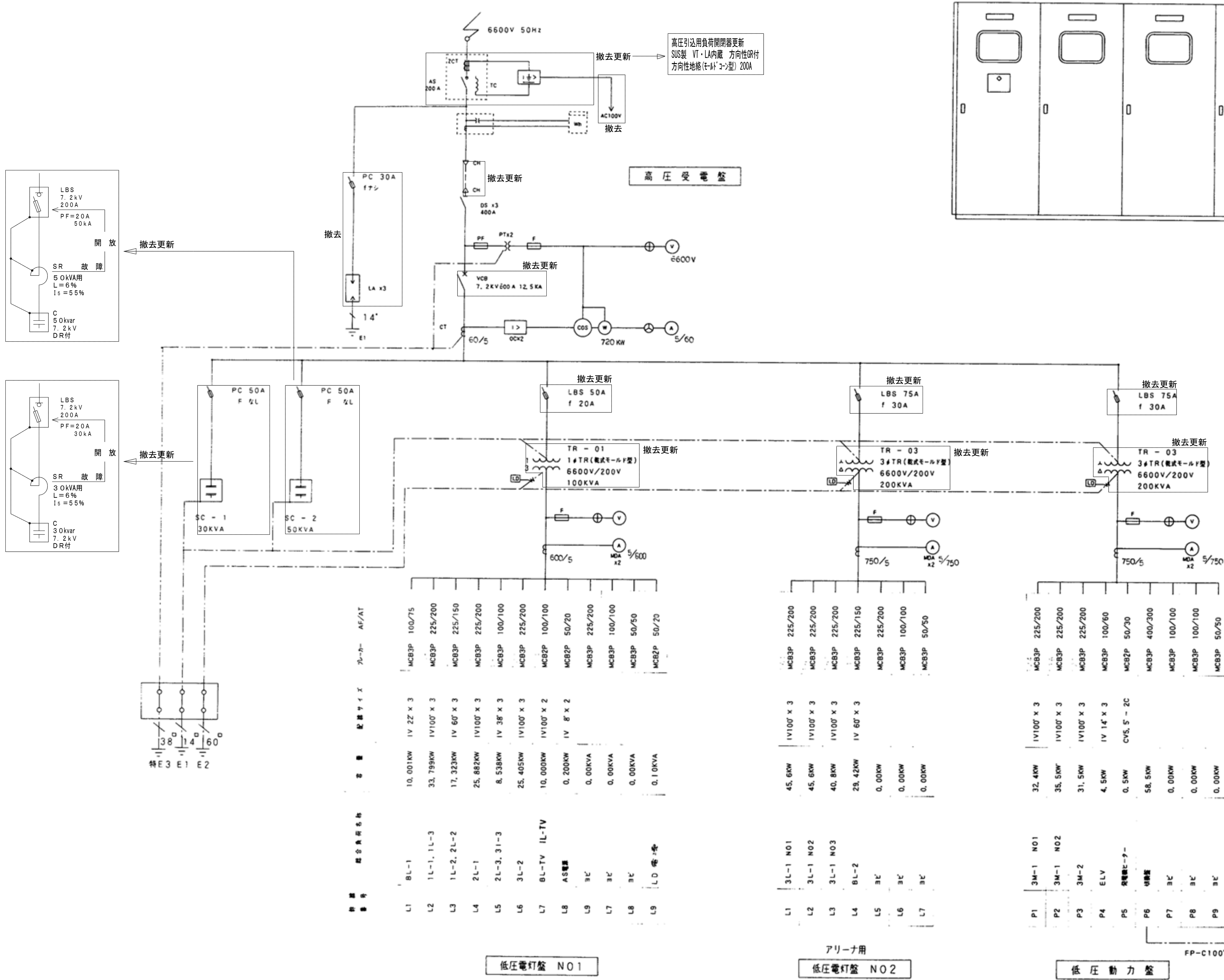


制御フローシート

注記
1. 発電機設備は一部部品の交換を行う。

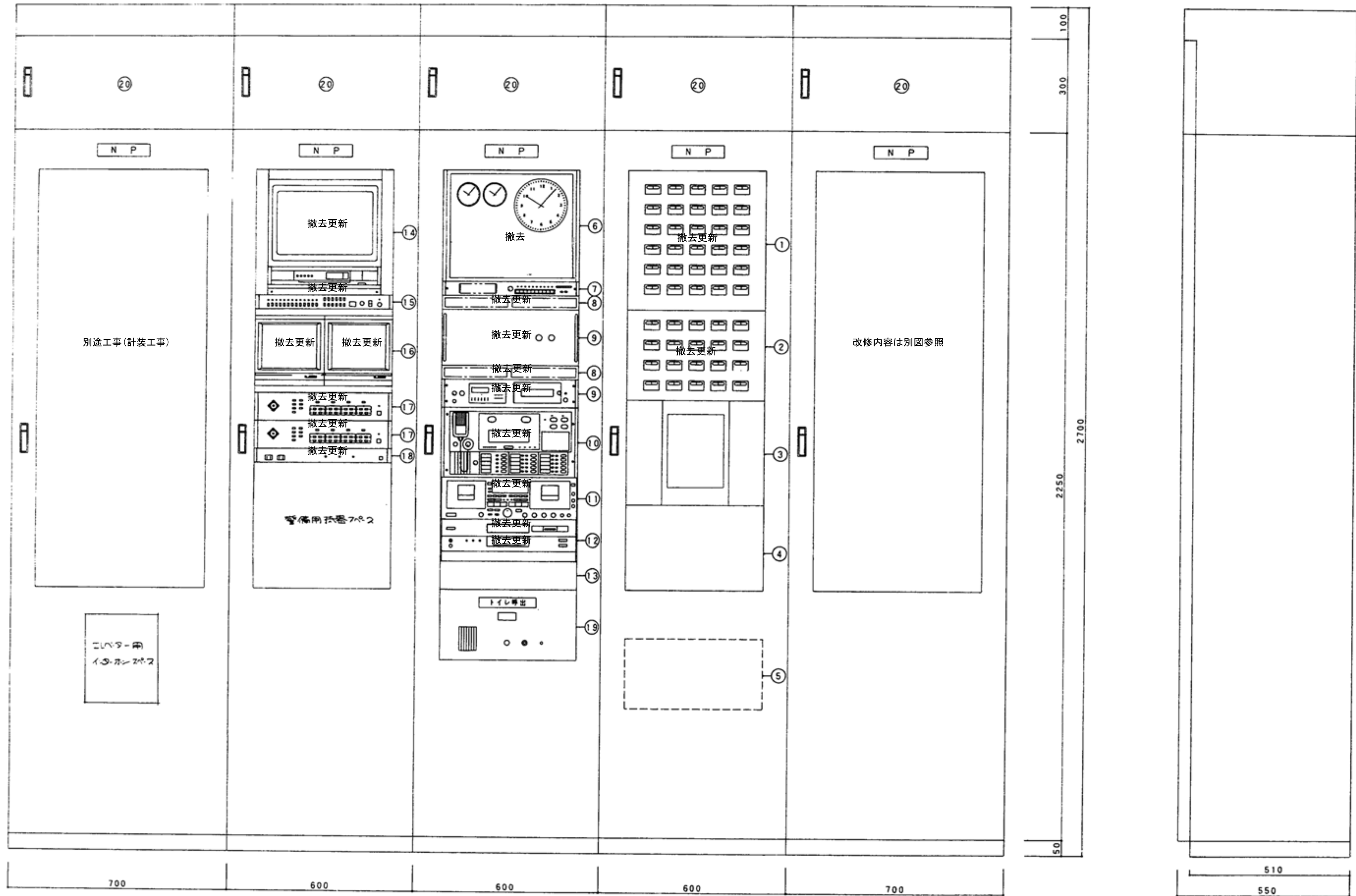


キュービクル姿図



—特記—各低圧盤のブレーカーは、アラーム付とし各低圧盤ごと一括警報を盤表面に表示する事。
又、全ての警報を一括してF、警報室警報盤に表示する事。

注記
1. 「撤去更新」と傍記のある引込高圧電線は既設撤去後6kV-EM-CET38に更新すること。
2. 「撤去改修」と傍記のある高圧機器は撤去後更新すること。



機材配置図
(内部電気設備関係)

時計・放送仕様	撤去更新
常 用 電 源	AC100V 50/60Hz
主 常 電 源	DC24V(ニカド蓄電池)
定 格 出 力	360W
入 力 回 路	3グループ 8系統
出 力 制 御	優先順位有り (一斉は緊急・一般の2モード切替式) グループ放送モード 5周(マイコン制御)
音 声 警 報 音	単一指向性ダイナミック形
マイ ク ロ フ ン	型 式: オートリバーサダブルデッキ
カ セ ッ ト ア ッ ク	使用テープ: ノーマル, クロム, メタル
C D プ レ ー ヤ	光源: 半導体レーザー 量子化ビット数: 16ビットリニア

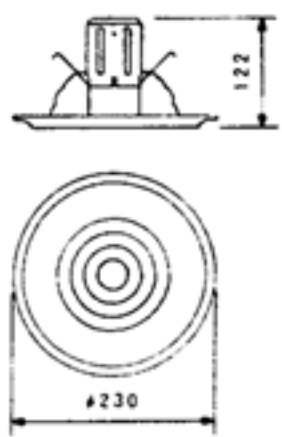
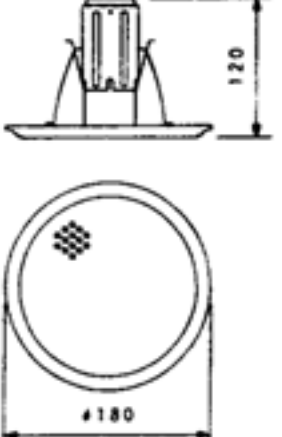
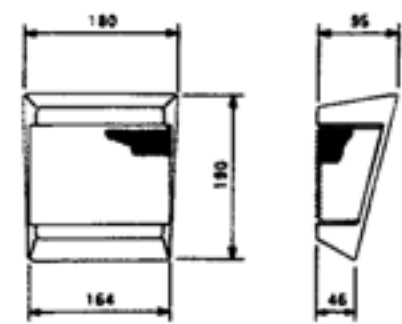
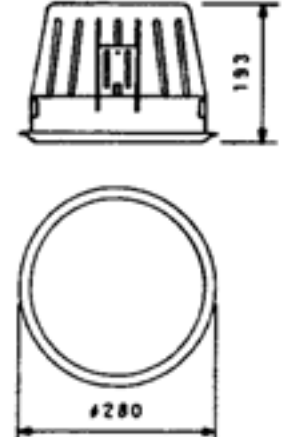
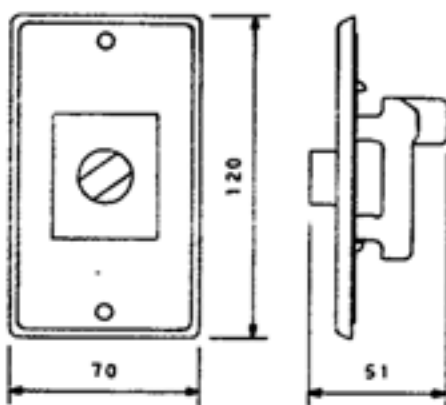
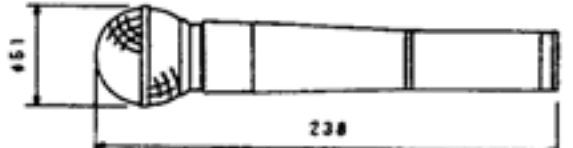
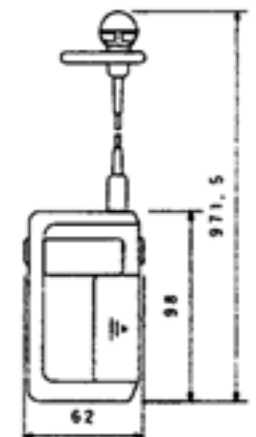
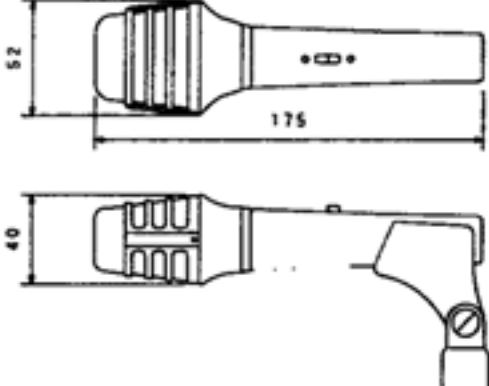
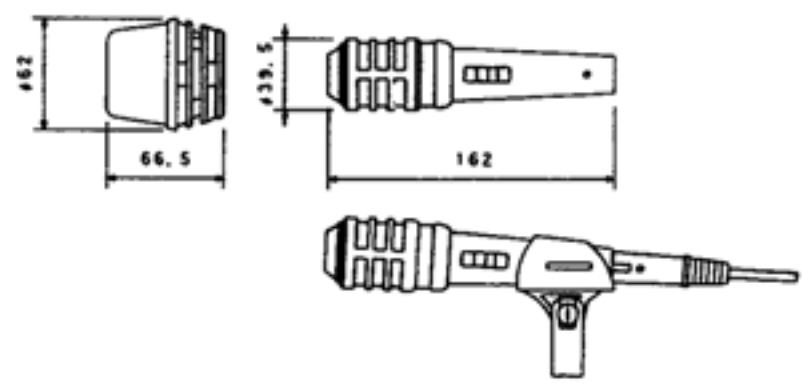
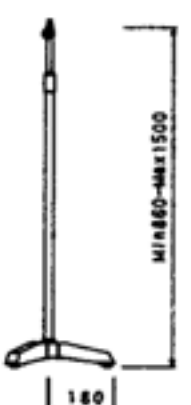
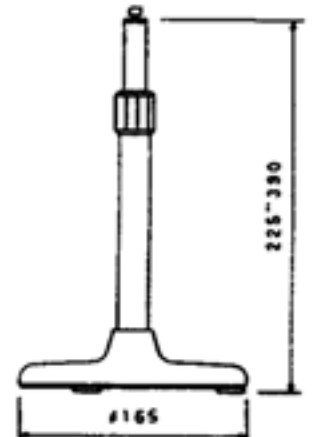
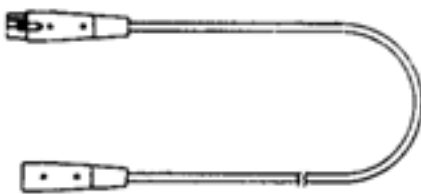
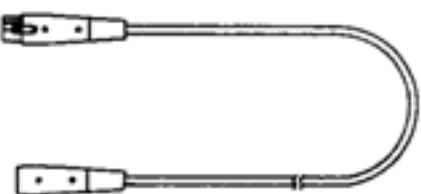
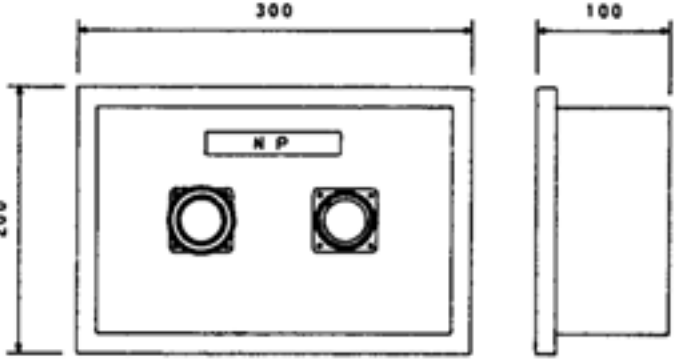
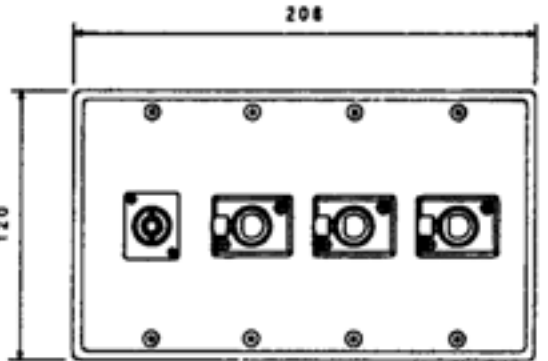
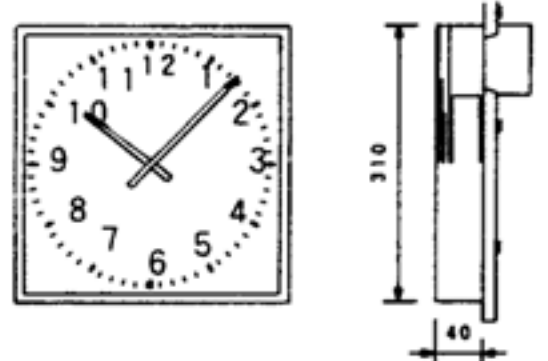
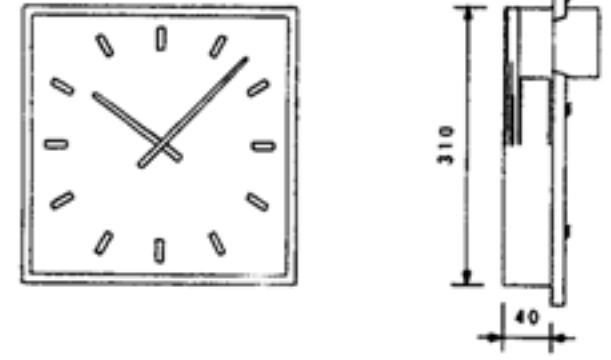
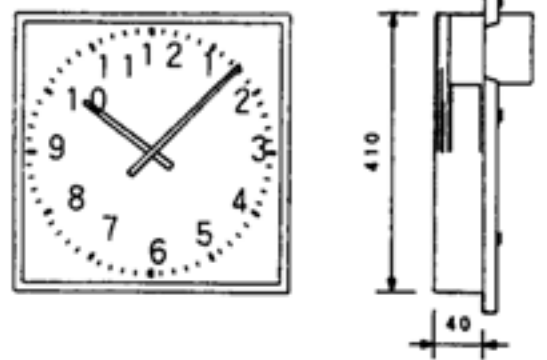
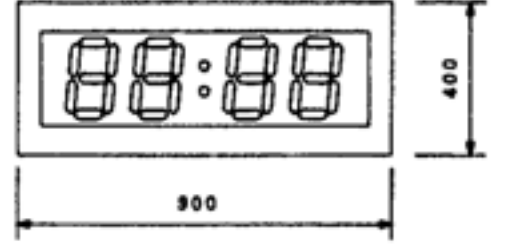
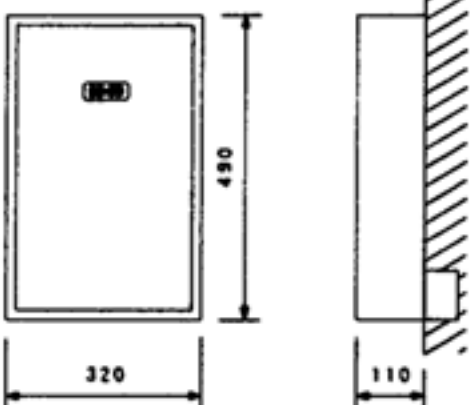
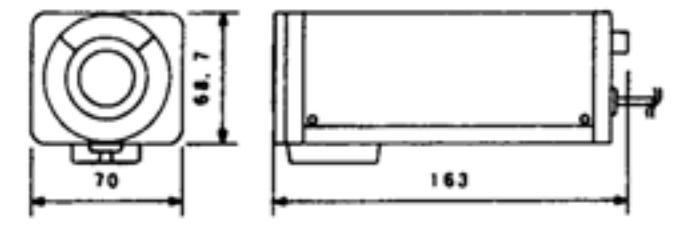
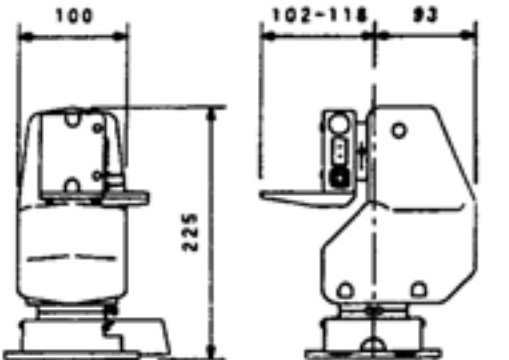
モニターパネル	10系統 LEDメーター
そ の 他	AM/FMラジオチューナー内蔵
撤 去	子時計回線数: 2回線 子時計駆動数: 1回線当り30秒 時計表示: 30秒間欠表示 停電時電源: 密閉型ニカド蓄電池 プログラムタイマ: カード式 稼立6回線 合計590動作 その他: ラジオコントロール付

ITV仕様	撤去更新
電 源	AC100V 50/60Hz
モ ニ タ ー テ レ ビ	ブラウン管: 14インチ 解像度: 水平250本以上(中心部) ブラウン管: 10インチ 解像度: 240TV本(水平中心)
シーケンシャルスイッチャ	映像出力: オートX1, スポットX1 センサ入力: 6回線 カメラ入力: 4系統 映像出力: スルーX4, モニタX1 アラーム出力: 4系統
同軸多重コントローラ	電源出力: 3系統 コンセント数: 15+サービス2
パワーディストリビュータ	

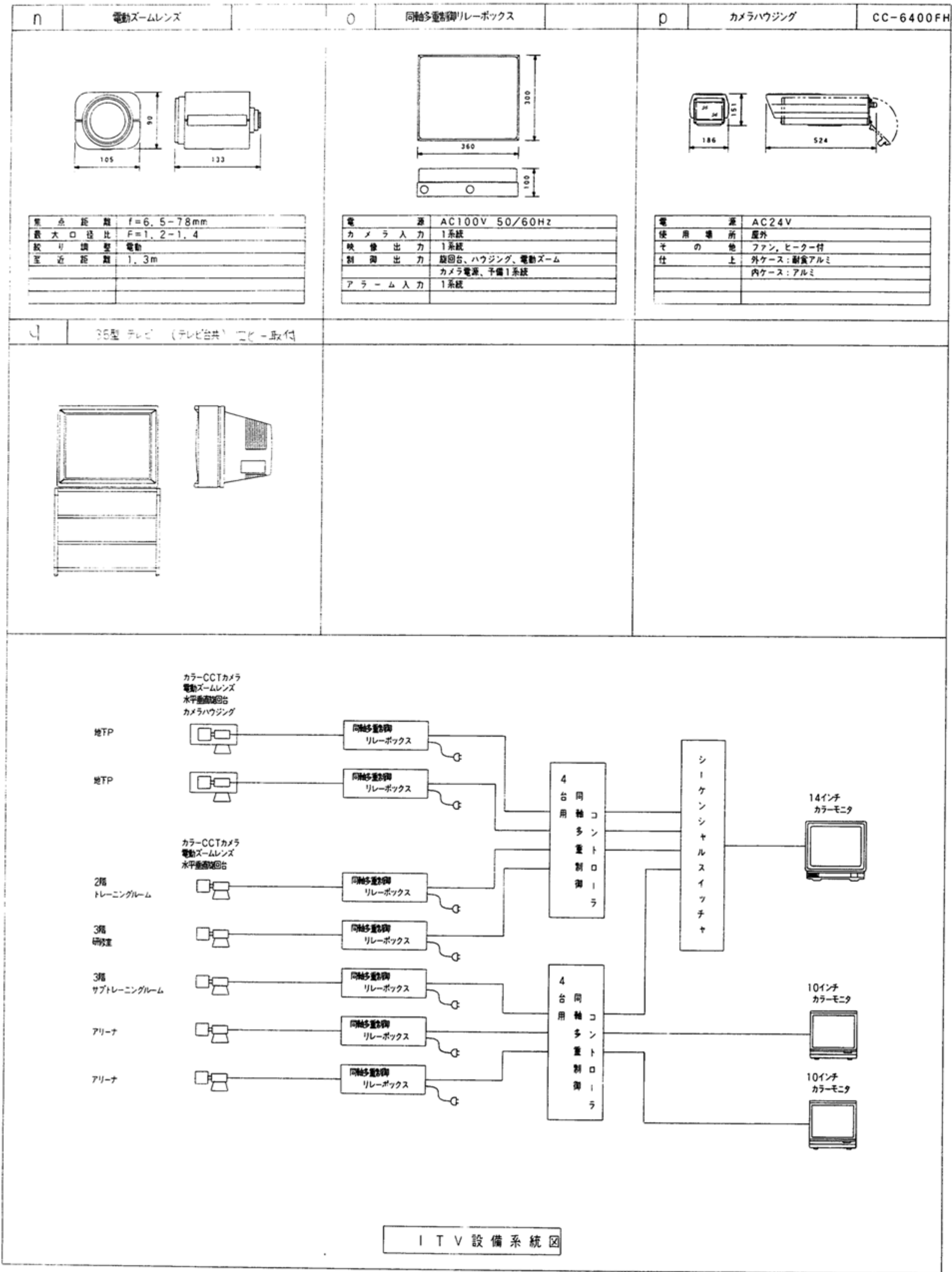
警報室内容	撤去更新
イ. スプリンクラー消火設備	ハ. 泡消火設備
1 アラーム警報 日曜	11 泡消火ポンプ運転
2 # 1階	12 # 故障
3 # 2階	13 # 呼吸機減水
4 # 3階	14 # 呼吸機減水
5 スプリンクラーポンプ運転	15 泡消火コンプレッサー故障
6 # 故障	16 泡消火アラームエラー減圧
7 # 呼吸機減水	
8 # 呼吸機減水	
ロ. 共用設備	ニ. 電気設備
9 消火受水槽 満水	17 キュウビクル 故障
10 # 減水	18 発電機 故障
	19 キュウビクル フリーze・トランプ

NQ	名 称
1	自動火災報知 P-1-30 撤去更新
2	設備警報 25 撤去更新
3	誘導灯信号装置
4	操作部
5	電話器収納箱
6	モニターパネル撤去
7	遮断(バーフォレイトッド)パネル
8	パワーアンプ240W 撤去更新
9	ブリアンプパネル撤去更新
10	非常業務兼用操作パネル撤去更新
11	ステレオダブルカセットデッキ 撤去更新
12	コンパクトディスクプレーヤー 撤去更新
13	ブランクパネル
14	カラーモニターテレビ 14インチ 撤去更新
15	シーケンシャルスイッチャ 12周 撤去更新
16	モニターテレビ 10インチ 撤去更新
17	同軸多重コントローラ 4台 撤去更新
18	パワーディストリビュータ 撤去更新
19	トイレ呼出表示器
20	配線ダクト(詳細寸法は打ち合わせによる)

注記
1. 「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。
2. 「撤去」と傍記のある機器、器具は撤去し、スペースにはブランクプレートを取り付けるものとする。
3. 上記の傍記がないものは既設のまま再使用すること。

P	天井型スピーカ	PC-340RW	Q	防音天井型スピーカ	PC-3W	R	壁掛型スピーカ	BS-310T	S	天井型スピーカ	PC-211	T	音量調整器	AT-312 + YT-1AL	U	ハンド型ワイヤレスマイクロホン	3本
																	
定格入力 3W 出力音圧レベル 92dB/W/m 周波数特性 100Hz~10kHz 仕上 パネル：樹脂 オフホワイト		定格入力 3W 出力音圧レベル 90dB/W/m 周波数特性 180Hz~20kHz 仕上 枠：樹脂 グレー 前面：アルミバンディング		定格入力 3W 出力音圧レベル 91dB/W, m 仕上 樹脂 音量調整器 有		定格入力 15W 出力音圧レベル 91dB/W/m 周波数特性 50Hz~20kHz 仕上 枠：アルミ 前面：ジャージネット グレー		入力容量 5~30W 音量切換 4段切換 プレート アルミ合金		受信周波数 800MHz帯 アンテナ 内蔵 定格空中線電力 10mW 周波数特性 70Hz~15kHz 使用マイクロホン 単一指向性ダイナミックマイクロホン 使用電池 単三乾電池X1 電池寿命 12時間以上							
V	タイプ型ワイヤレスマイクロホン	3本	W	ダイナミックマイク(講演用)	2本	X	ダイナミックマイク(楽器集音用)	2本	Y	フロアマイクスタンド	1本	Z	ブームスタンド	1本	a	マイクロホンスタンド	
																	
送信周波数 800MHz帯 アンテナ 内蔵ループアンテナ 定格空中線電力 5mW 周波数特性 200Hz~12kHz 使用マイクロホン 単一指向性エレクトレットマイクロホン 使用電池 単三乾電池X1		出力インピーダンス 600Ω(平衡型) 指向性 単一指向性 周波数特性 100Hz~12kHz 出力感度 -76dB その他 トークスイッチ付 適合コネクタ XLR-3-11C相当品		出力インピーダンス 250Ω(平衡型) 指向性 単一指向性 周波数特性 30Hz~18kHz 出力感度 -74dB コード 4.5m その他 トークスイッチ付 楽器集音・ボーカル用		型式 フリーストップ式		型式 床上型、ブーム付 有効伸張 940~1640mm ブーム有効伸張 730mm		型式 卓上型2段式							
b	マイクコード	2本	d	マイクコード	2本	e	コネクタ盤(アリーナ)		f	コネクタ盤(研修室)				g		角型時計	
																	
コネクタ キヤノン型 XLR-3-11C キヤノン型 XLR-3-12C 長さ 10m		コネクタ キヤノン型 XLR-3-11C キヤノン型 XLR-3-12C 長さ 20m		使用コネクタ FK-37-31S X1 FK-37-32S X1		プレート 新金属 4個用 使用コネクタ BNC X2 XLR-4-31 X6						枠 鋼板 グレー、クリーム 文字板 アルミ 白色 文字 黒色 指針 アルミ 黒色					
h	角型時計		i	角型時計		j	デジタル時計		k	デジタル時計(薄型)		l	カラー CCDカメラ	CC-1354	m	水平型時計	CC-5525
																	
枠 鋼板 黒色 文字板 アルミバトラー仕上 文字 黒色 指針 アルミ 黒色		枠 鋼板 グレー、クリーム 文字板 アルミ 白色 文字 黒色 指針 アルミ 黒色		ケース 鋼板 t=1.6 指定色メラミン焼付塗装(白色) 入力電源 AC100V 50Hz 入力信号 DC24V BCD信号(制御部より) 表示方式 12時間制表示 停電時動作時間 30時間以上 回路部のみ停電補償 表示ユニット マグネット反転式、白色、発光数60個 表ガラス 透明強化ガラス t=5		水晶発振 4174, 304KH 出力信号 DC12V 4桁時刻信号(シリアル式) 待機時電源 待機時動作 10時間以上(但し表示部へ別途) 入力電源 AC100V 50Hz ケース 厚鋼板製 本体1.2t 厚1.0t メラミン焼付仕上		電源 AC24V 50/60Hz 同期方式 電源/内部/外部/並進外部同期 水平解像度 330TV本 最低被写体照度 2Lx(F1.4 20IRE) 推奨被写体照度 300Lx(F2.8) レンズマウント CSマウント オートアイリス露出出力 VIDEQ入カタイプ/DC入カタイプ		電源 AC24V 50/60Hz 使用場所 屋内 動作角度 水平：自動反転動作時 330°±5° 垂直：±60° 構造重量 3kg以下							

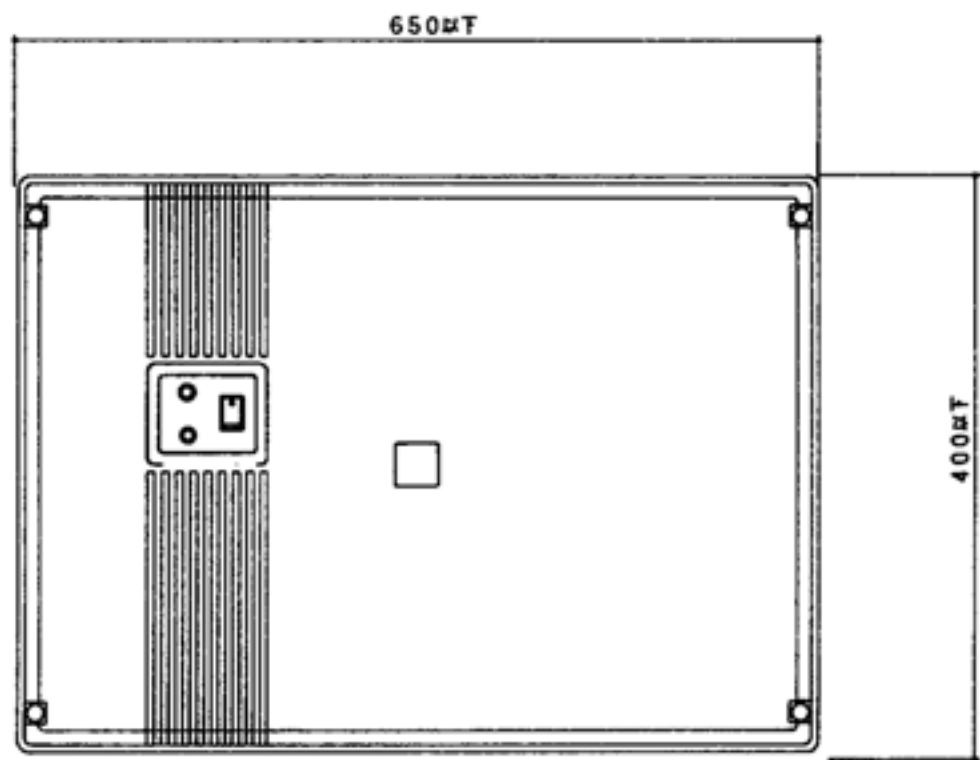
注記
 1. 弱電機器はすべて撤去更新とする。
 2. 本姿図は撤去費用算出の参考図とする。



注記
1. 弱電機器はすべて撤去更新とする。
2. 本姿図は撤去費用算出の参考図とする。

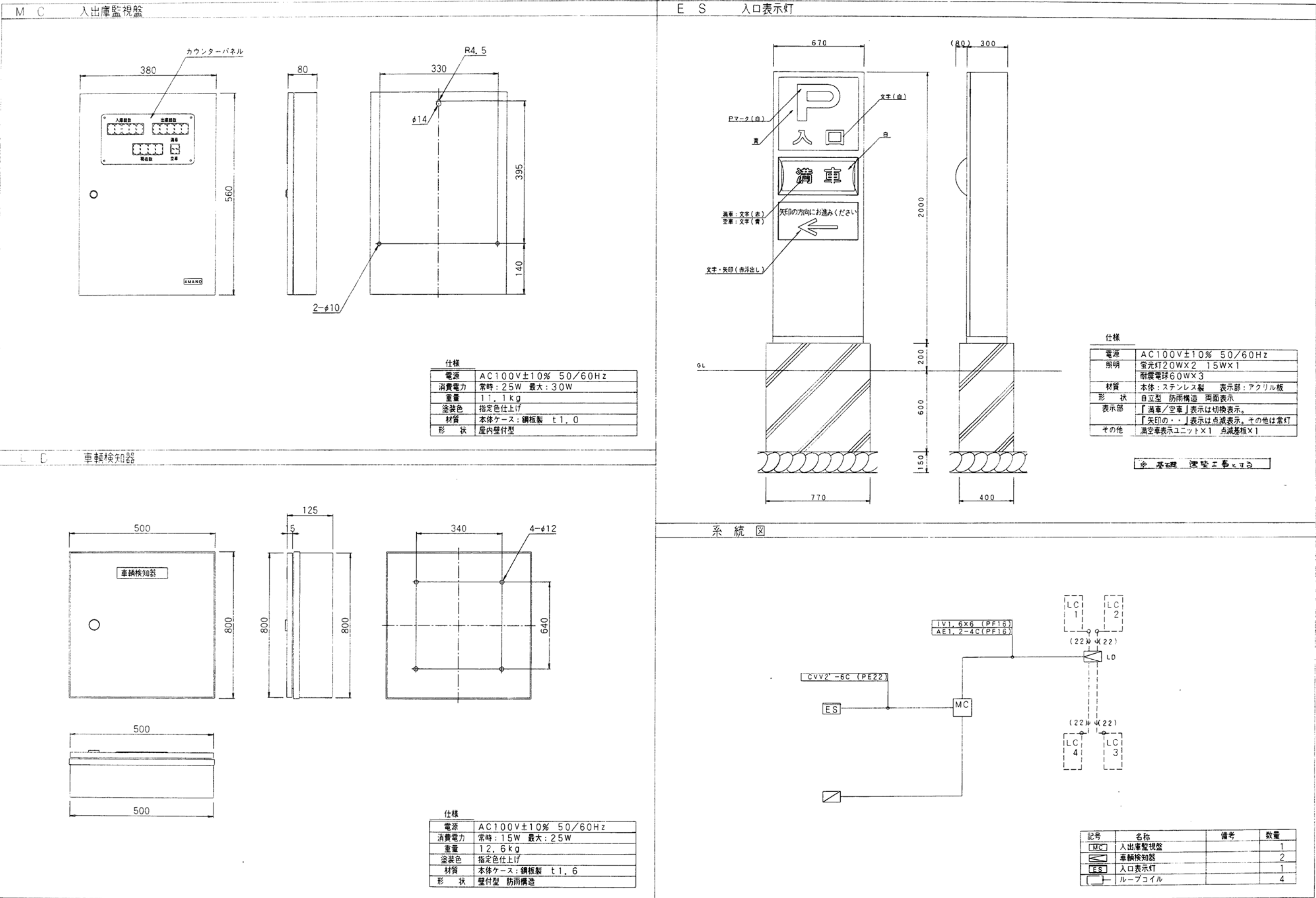
電子ボタン交換機 機器仕様			
1. 工事概要			
1. 一般事項	本工事は構内交換電話設備に換要するものとし、日本電信電話株式会社（以下NTTと称す）及び建設大臣官房官庁、宮城県監修電気設備工事共通仕様書（平成5年版）の技術基準に基づく他、現場監督員の指示に従い完全に施工する。		
2. 交換方式	電子ボタン交換式		
3. 容量及び実装	内線	容量－32回線	実装－22回線
	局線	容量－12回線	実装－4回線
4. 機材の承認及び試験	本設備工事の機器制作に当って本工事の請負者は承認図 部提出し係員の承認を得た後、制作を行うものとする。又交換機電源装置の試験は製造者の社内規格による試験方式で行い、設計図書どおりであることを確認し、監督員に試験成績表を提出し、承認を受けるものとする。		
5. 申請保証	本設備工事の請負者は、NTTに対する申請等一切を代行する。 納入後一ケ年以内に生じた故障で明らかに設計製造並びに据付工事の不良と認められた場合は、すみやかに無償で修理及び取替えを行うものとする。		
2. 機器仕様			
1. 電子交換機			
1-1 概 要	本装置は、単独加入電話、あるいは構内交換設備の内線電話の回線及び専用線に接続するもので、回線選択、回線保留、転送及び内線相互通話等をボタン操作で行う簡易交換電		
1-2 使用条件	入力電源	交流 100V±10V	
	消費電力	60W	
	内線ループ抵抗	40Ω以下（電話機抵抗を含む）	
	漏洩抵抗	20KΩ以上	
	局線抵抗	局交換機に従う	
	温 度	0～40℃	
	湿 度	10～85%RH	
	内線線路絶縁抵抗	1MΩ以上	
1-3 ダイヤル条件	押ボタン方式		
1-4 番号計画	種 別		
	局線発信	*0* 又はボタン	
	局線応答	*8* 又はボタン	
	内線相互	2××～4××	
	固定短縮ダイヤル	6××	
	可変短縮ダイヤル	5××	
	各種機能特番	10××～19又はボタン	
	×、××：展開番号及びコード番号		
1-5 機 能	常備機能の他、下記の機能を具備するものとする。		
	1)内線サービスクラス	10)レビートダイヤル	19)内線相互キャンブオン
	2)自動ハウラ音送出	11)内線代表	20)アッドオン
	3)ラインロックアウト	12)リセットシフトコール	21)呼出信号区別
	4)コールパーク	13)コールバックトランスファー	22)通話時分予報音
	5)ピックアップ	14)局線（発信、着信）グループ	23)夜間モード切替
	6)トランクキャンブオン	15)ホットライン	24)簡易転送
	7)短縮ダイヤル	16)可変不在転送	25)多機能電話サービス
	8)保留音送出	17)局線状態表示	26)局線受付方式変更（多機能電話機で）
	9)ナンバーリンプフリー	18)局線指定発信	27)保守適用サービス
			28)警報表示

2. 付属機器					
2-1	本配線盤	本体キャビネット内蔵形とし、本設備に必要な配線数を収容するものとする。			
3. 電話機及び表示器等 下記機器を監督員の指示に従い取付の事。					
3-1	多機能電話機	表示無	図示	①	16 台
3-2	多機能電話機（停電機能付）	表示付	図示	②	4 台
4. 端子番号、内線番号等の保存書類について					
各中継端子盤の配線及び内線番号等は、管理者が容易に理解出来るように計画し、プラスチックホルダー（B5程度）にいれて各盤毎に保存するものとする。					

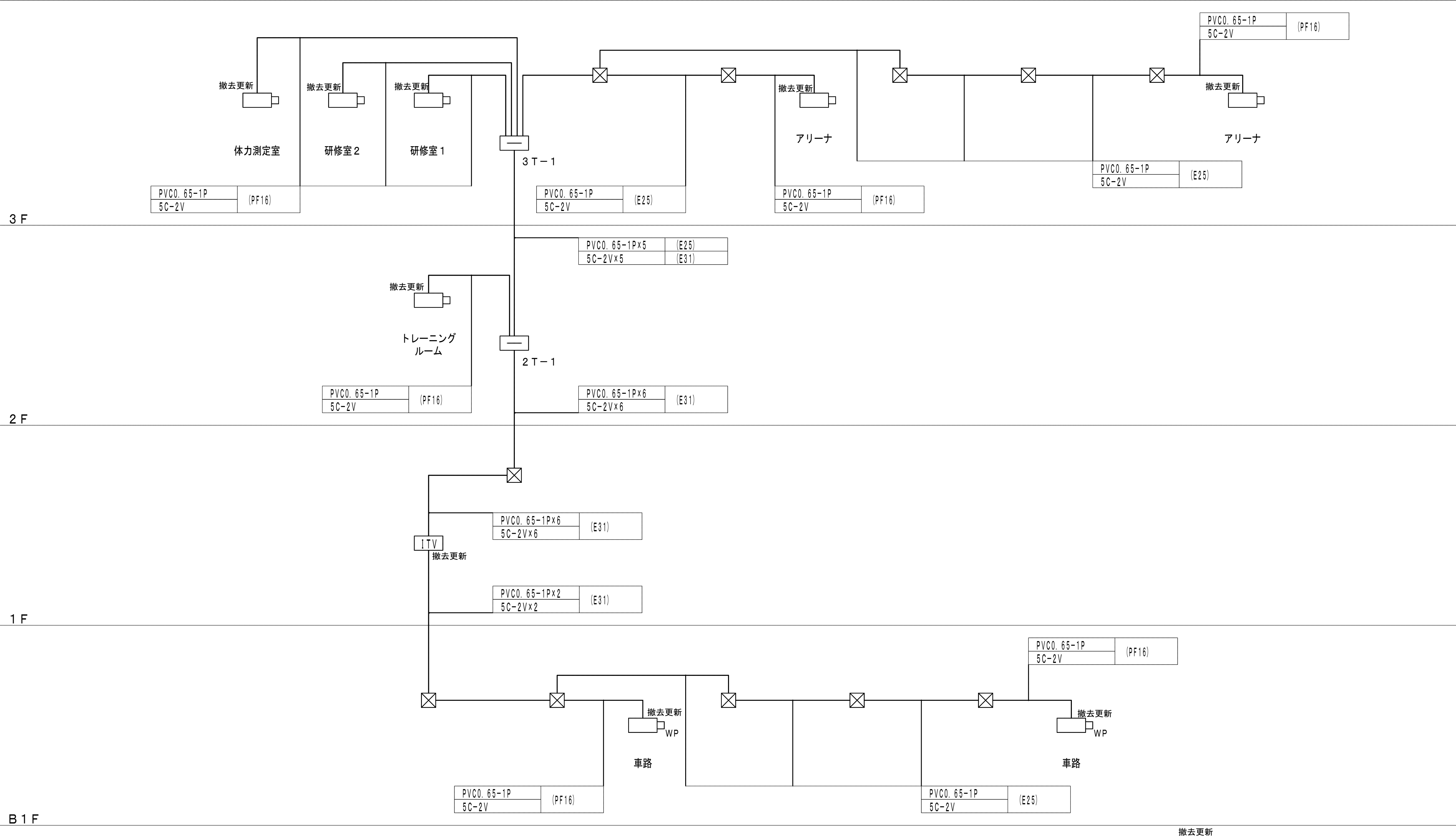


電話交換機 参考姿図 複合防災盤内 取付

注記
1. 電子ボタン交換機設備はすべて既設のまま再使用とする。



注記
1. 駐車場管制設備はすべて既設のまま再使用とする。



監視カメラ設備 系統図

注記
1. 「撤去更新」と傍記のある機器、器具は撤去し更新するものとする。
更新機器は更新後図面を参照すること。
2. 配線は撤去し更新すること。(更新後図面参照)
3. 配管は再使用すること。